

管 理 番 号
BA01 - 02 - 02 -

CAFIS®
接続条件設計書
業 務 共 通 編

第 2.2 版

平成 30 年 1 月

株式会社 NTTデータ

(Blank Page)

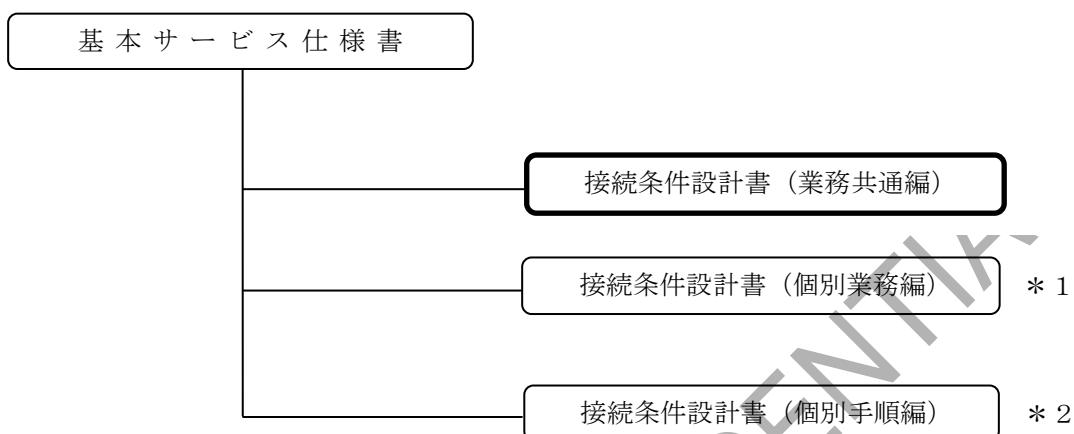
修正履歴		資料名	CAFIS 接続条件設計書 業務共通編			
項目番号	修正内容	修正理由	修正頁	旧頁	修正年月	
1	(新) (「基本サービス仕様書 1.6 伝送制御手順一覧」参照) (旧) (「基本サービス仕様書 1.5 サービス業務一覧」参照)	誤記	はじめに	はじめに	09. 01 (第 2.0 版)	
2	処理フローで仕様を表現するよう記述改善 保留電文を送信直後に貴社センタ宛の全ての電文送信が可能となる機能が、貴社任意で設定可能である旨を記載	送信後オンライン機能追加による仕様変更	2-1 2-2 2-3 2-4 2-5 2-6	2-1 2-2 2-3 2-4		
3	(新) (a) 再開始要求送信 (旧) (a) 再開始要求受信	誤記	2-5	2-5		
4	注1を追加	制御タイム値 仕様変更	2-35	2-35		
5	(注)を(注 2)に変更					
6	センタ識別番号、X ₂ の設定可能範囲を1~9, A~F → 1~9, A~Z	CAFIS 处理 通番拡張による仕様変更	3-23	3-23		
7	(注)のセット可能範囲を1~9, A~F → 1~9, A~Z		3-30	3-30		
8	3.4.1 CAFISで管理するカウンタ における以下の記述を削除 但し、当該カウンタは貴社センタとCAFISセンタ間のカウンタであるため、提携会社間のカウンタについては、3. 4. 2項に示す。	誤記	3-58	3-58		
9	(新)表 3.1.4-2 (旧)表 3.1.4-1	誤記	3-23 3-24 3-25	3-23 3-24 3-25		
10	(新)表 3.1.4-3 (旧)表 3.1.4-2	誤記	3-26	3-26		
11	(新)表 3.1.4-4 (旧)表 3.1.4-3	誤記	3-27	3-27		
12	(新)表 3.1.4-5 (旧)表 3.1.4-4	誤記	3-28	3-28		
13	CAT 廃止に伴い、端末関連の記述を全面的に削除	修正	-	-	15. 4 (第 2.1 版)	
14	センタ識別番号、X ₂ の設定可能範囲を 1~9, A~Z → 1~9, A~Z, a~z	CAFIS 处理 通番拡張による仕様変更	3-23 3-30	3-23 3-30	H30. 1 (第 2.2 版)	
15	表 3.1.2-2 に関する誤記を修正	誤記	3-4	3-4		

(Blank Page)

• VTTDATA CONFIDENTIAL

はじめに

本書は、株式会社NTTデータ（以下、NTT DATAと言う）が運用するクレジット情報データ通信システム（Credit And Finance Information System）**CAFIS®**（以下、CAFISと言う）の接続条件における、全業務共通仕様について記述したものです。



(注) *1 各業務に応じた接続条件設計書が存在します。

(「基本サービス仕様書 1.5 サービス業務一覧」参照)

*2 各手順に応じた接続条件設計書が存在します。

(「基本サービス仕様書 1. 6 伝送制御手順一覧」参照)

本書を「CAFIS」接続以外の目的で使用することを禁じます。
本書は予告なく変更されることがあります。
本書を無断で他に転載することを禁じます。
本書を他に譲渡することを禁じます。
「CAFIS」は、NTT DATA の登録商標です。

「**CAFIS**®」は、NTT DATAの登録商標です。

(Blank Page)

• VITADATA CONFIDENTIAL

目 次

第1章 総 括	1 — 1
第2章 制御仕様	2 — 1
2. 1 システム制御	2 — 1
2. 1. 1 オンライン一斉開始	2 — 1
2. 1. 2 オンライン一斉終了	2 — 7
2. 1. 3 CAFISセンタ障害	2 — 16
2. 2 貴社センタ制御	2 — 18
2. 2. 1 貴社センタ個別開始	2 — 18
2. 2. 2 貴社センタ個別終了	2 — 19
2. 2. 3 貴社センタ障害	2 — 27
2. 3 回線制御	2 — 32
2. 3. 1 回線障害	2 — 32
2. 3. 2 回線選択	2 — 32
2. 4 経路制御	2 — 33
2. 4. 1 経路種別	2 — 33
2. 4. 2 経路数	2 — 34
2. 4. 3 経路選択	2 — 34
2. 4. 4 経路保障	2 — 34
2. 5 時間監視制御	2 — 35
2. 5. 1 対貴社センタ監視タイマ	2 — 35
2. 5. 2 対CAFIS監視タイマ	2 — 36

第3章 機能仕様	3 - 1
3. 1 電文仕様	3 - 1
3. 1. 1 電文種別	3 - 1
3. 1. 2 電文処理形態	3 - 3
3. 1. 3 電文構成	3 - 1 2
3. 1. 4 電文様式	3 - 1 5
3. 2 電文変換仕様	3 - 2 9
3. 2. 1 制御電文	3 - 2 9
3. 2. 2 一般電文	3 - 3 4
3. 2. 3 障害電文	3 - 3 9
3. 3 チェック仕様	3 - 4 5
3. 3. 1 処理原則	3 - 4 5
3. 3. 2 仕向センタチェック仕様	3 - 4 7
3. 3. 3 被仕向センタチェック仕様	3 - 4 8
3. 3. 4 CAFISセンタチェック仕様	3 - 4 9
3. 3. 5 エラーコード	3 - 5 5
3. 4 カウンタ仕様	3 - 5 8
3. 4. 1 CAFISセンタ管理	3 - 5 8

第1章 総括

• VTTDATA CONFIDENTIAL

(Blank Page)

• VITADATA CONFIDENTIAL

第1章 総括

本設計書は、CAFISの外部条件のうち、貴社とNTT DATAとの設計分担に必要な各種の条件をまとめたものである。

なお、本設計書ではCAFISに接続する、カード会社センタ、加盟店センタ、および金融機関センタ等の各センタを「貴社センタ」、CAFISセンタへ要求電文や指令電文を送信するセンタを「仕向センタ」、CAFISから要求電文や指令電文を受信するセンタを「被仕向センタ」と総称する。

また、同様にCAFISに接続する、企業内CD、銀行POS等の各端末装置を「端末」と総称する。

(Blank Page)

• VITADATA CONFIDENTIAL

第2章 制御仕様

CONFIDENTIAL
VTTDATA

(Blank Page)

• VTTDATA CONFIDENTIAL

第2章 制御仕様

2.1 システム制御

2.1.1 オンライン一斉開始

CAFISセンタは、センタ設備のメンテナンス作業や、センタ障害等の原因により停止したオンラインサービスを、開始指令または再開要求により貴社センタや端末に対して一斉に開始する。

(1) 貴社センタでの準備

CAFISセンタのオンライン一斉開始が、貴社センタのオンラインサービス時間帯の場合、あらかじめオンライン開始処理を行い、CAFISセンタからの「開始指令」を受信可能な状態、または貴社センタから「再開始要求」を送信可能な状態とする。

(2) オンライン一斉開始処理

A. 開始指令による開局

オンライン一斉開始時の、開始指令による開局手順を図 2.1.1-1 に示す。

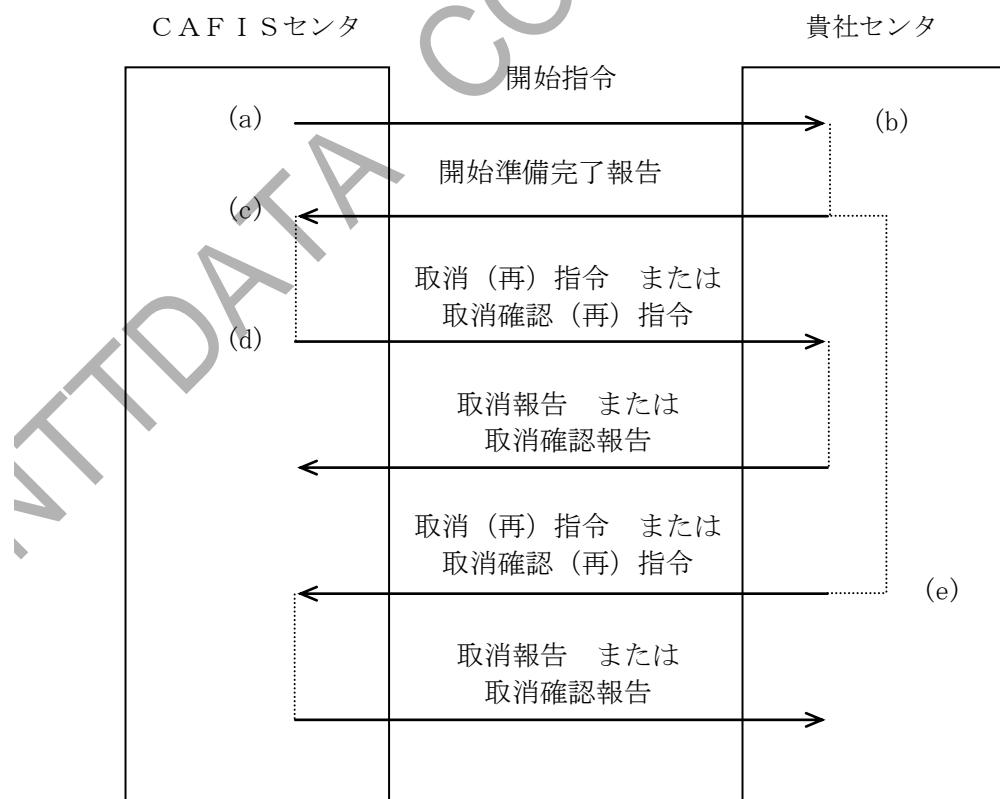


図 2.1.1-1 開始指令による開局手順

(a) 開始指令送信 (CAFISセンタ)

CAFISセンタは、「CAFISからの開始指令」を「要」で契約された貴社センタ、または、サービス開始時に障害状態の貴社センタに対し、「開始指令」を送信する。

(b) 開始指令受信 (貴社センタ)

貴社センタがオンライン準備完了状態で、「開始指令」を受信した場合は、CAFISセンタへ「開始準備完了報告」を送信する。貴社センタのオンラインを開始し、新たな要求電文が送信可能になるまでのフローを図 2.1.1-2 に示す。

(c) 開始準備完了報告受信 (CAFISセンタ)

CAFISセンタは、貴社センタから「開始準備完了報告」を受信した場合は、貴社センタのオンラインを開始とし、貴社センタからの保留電文または新たな要求電文を受け付ける。

貴社センタ宛の全ての電文送信が可能になるまでのフローを図 2.1.1-3 に示す。

なお、貴社センタから規定時間内に「開始準備完了報告」を受信しなかった場合、CAFISセンタは一定間隔で「開始指令」を送信する。

(d) 保留電文送信 (CAFISセンタ)

CAFISセンタに貴社センタ宛の取消（再）指令、または取消確認（再）指令の保留電文がある場合、貴社センタへ保留電文を送信する。

貴社センタ宛の全ての電文送信が可能になるまでの条件を以下に、フローを図 2.1.1-3 に示す。

① 保留電文の処理完了後に開始する場合（初期設定）

CAFISセンタが保留電文を送信中は、貴社センタからの保留電文または新たな要求電文は受け付けるが、貴社センタ宛の保留電文以外は送信しない。

取消報告や取消確認報告の受信により、CAFISセンタに貴社センタ宛の保留電文が無くなった場合、貴社センタ宛の全ての電文の送信を開始する。

② 保留電文の送信直後に開始する場合（貴社任意で設定可能）

CAFISセンタが保留電文を送信中であっても、貴社センタからの保留電文または新たな要求電文を受け付け、貴社センタ宛の全ての電文の送信を開始する。

(e) 保留電文送信 (貴社センタ)

貴社センタに取消（再）指令、または取消確認（再）指令がある場合は、新たな要求電文より優先して、CAFISセンタへ保留電文を送信する。貴社センタのオンラインを開始し、新たな要求電文が送信可能になるまでのフローを図 2.1.1-2 に示す。

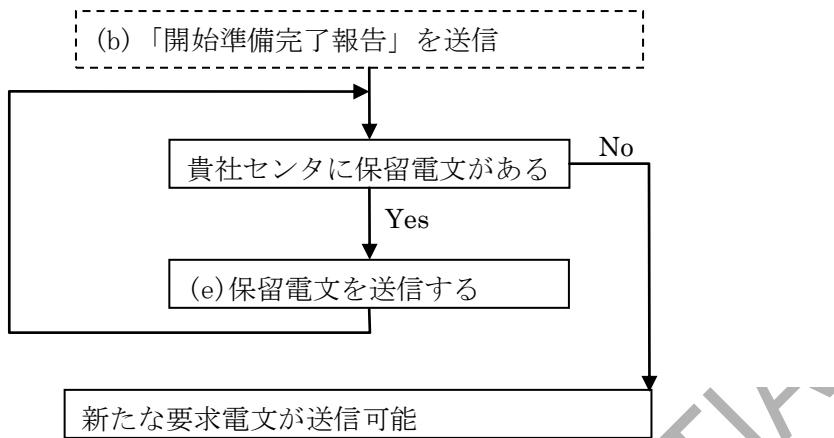


図 2.1.1-2 貴社センタが新たな要求電文を送信可能となるまでのフロー

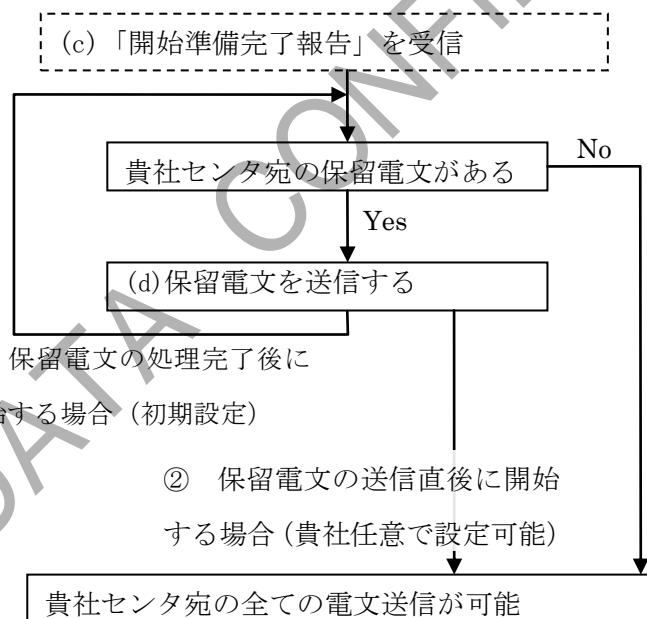


図 2.1.1-3 CAFIS センタが貴社センタ宛の全ての電文送信が可能となるまでのフロー

B. 再開始要求による開局

CAFISセンタのオンライン一斉開始時の、再開始要求による貴社センタ開局手順を図 2.1.1-4 に示す。

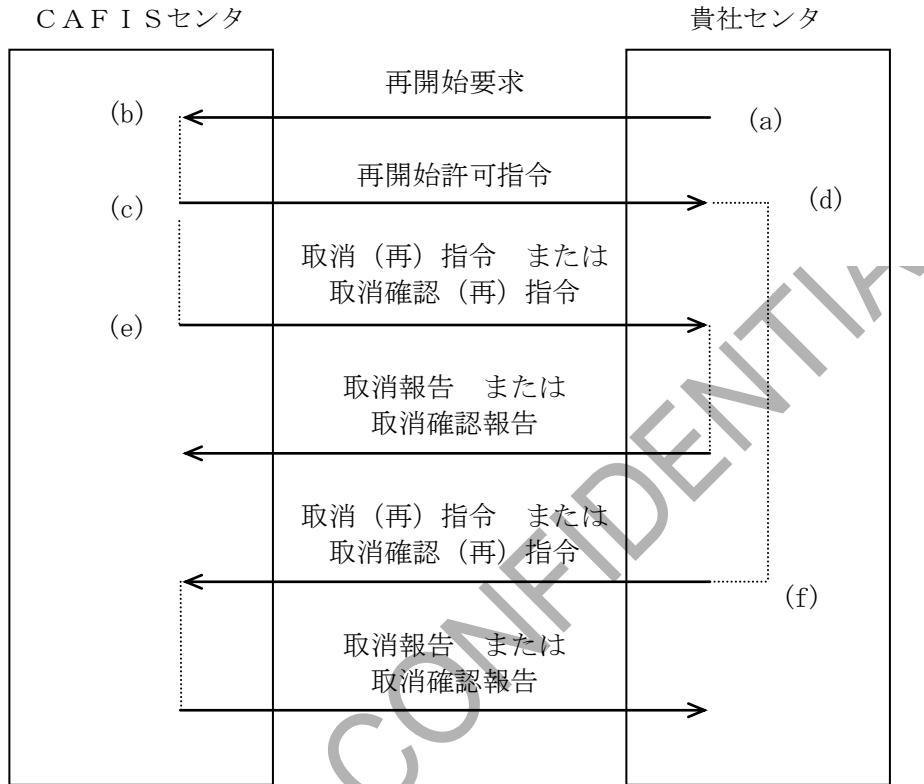


図 2.1.1-4 再開始要求による開局手順

(a) 再開始要求送信（貴社センタ）

貴社センタはCAFISセンタに「再開始要求」を送信する。

(b) 再開始要求受信（CAFISセンタ）

CAFISセンタは貴社センタから「再開始要求」を受信した場合、「再開始許可指令」を送信する。

(c) 再開始許可指令送信（CAFISセンタ）

「再開始許可指令」が貴社センタへ送信正常となった場合、貴社センタのオンラインを開始とし、貴社センタからの保留電文または新たな要求電文を受け付ける。

貴社センタ宛の全ての電文送信が可能になるまでのフローを図 2.1.1-5 に示す。

(d) 再開始許可指令受信（貴社センタ）

CAFISセンタから「再開始許可指令」を受信後、貴社センタのオンラインを開始し、新たな要求電文が送信可能になるまでのフローを図 2.1.1-6 に示す。

(e) 保留電文送信 (CAFISセンタ)

CAFISセンタに貴社センタ宛の取消（再）指令、または取消確認（再）指令の保留電文がある場合、貴社センタへ保留電文を送信する。

貴社センタ宛の全ての電文送信が可能になるまでの条件を以下に、フローを図 2.1.1-6 に示す。

① 保留電文の処理完了後に開始する場合（初期設定）

CAFISセンタが保留電文を送信中は、貴社センタからの保留電文または新たな要求電文は受け付けるが、貴社センタ宛の保留電文以外は送信しない。

取消報告や取消確認報告の受信により、CAFISセンタに貴社センタ宛の保留電文が無くなった場合、貴社センタ宛の全ての電文の送信を開始する。

② 保留電文の送信直後に開始する場合（貴社任意で設定可能）

CAFISセンタが保留電文を送信中であっても、貴社センタからの保留電文または新たな要求電文を受け付け、貴社センタ宛の全ての電文の送信を開始する。

(f) 保留電文送信（貴社センタ）

貴社センタに取消（再）指令、または取消確認（再）指令がある場合は、新たな要求電文より優先して、CAFISセンタへ保留電文を送信する。貴社センタのオンラインを開始し、新たな要求電文が送信可能になるまでのフローを図 2.1.1-5 に示す。

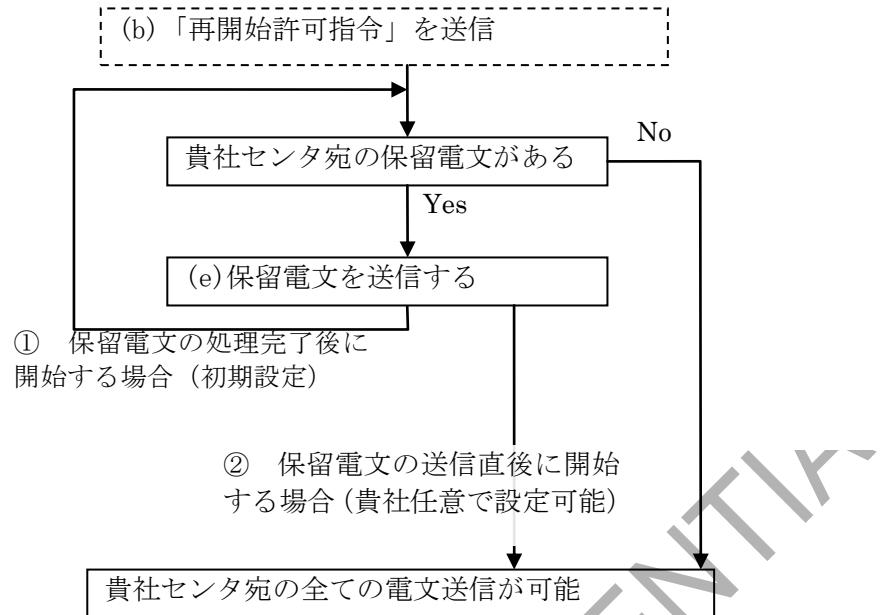


図 2.1.1-5 CAFIS センタが貴社センタ宛の全ての電文を送信可能となるまでのフロー

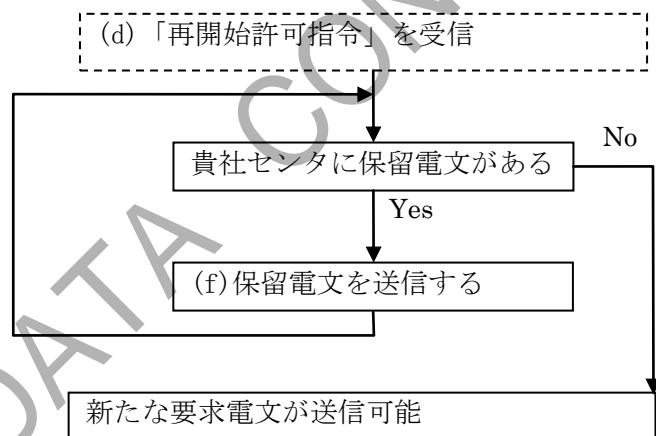


図 2.1.1-6 貴社センタが新たな要求電文を送信可能となるまでのフロー

2. 1. 2 オンライン一斉終了

CAFISは、センタ設備のメンテナンス作業等のため、一斉終了処理をもって貴社センタや端末に対するオンラインサービスを終了する。

CAFISセンタのオンライン一斉終了手順を図2.1.2-1に示す。

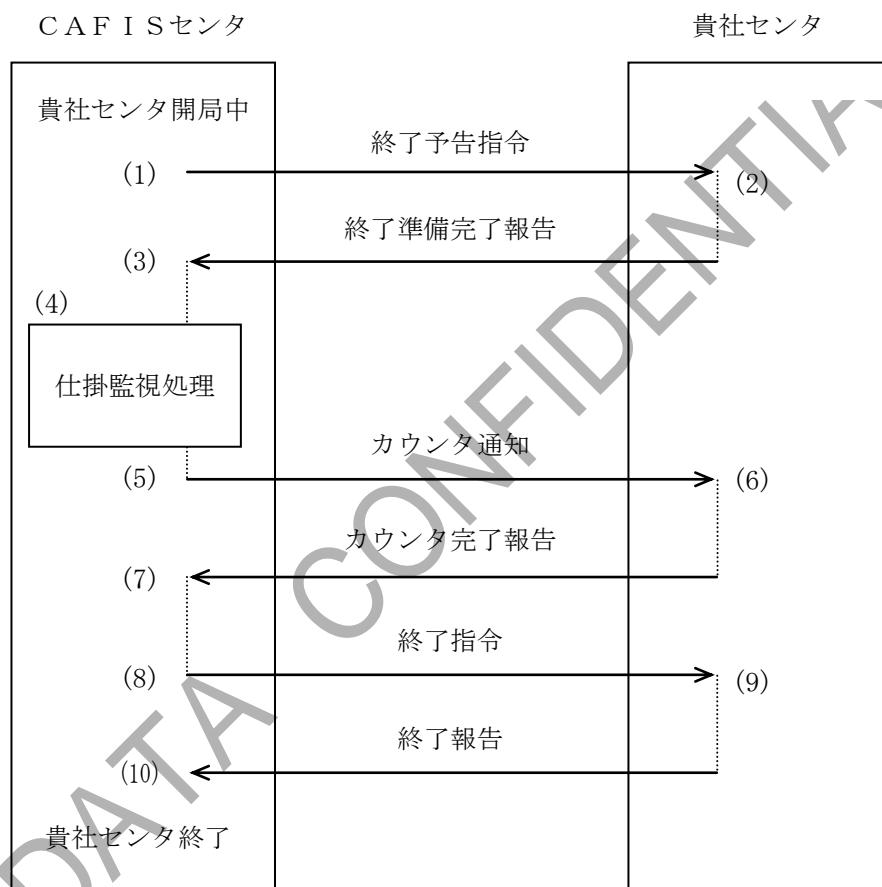


図2.1.2-1 オンライン一斉終了手順

(1) 終了予告指令送信

CAFISセンタとの接続状態が、オンライン開局中の全ての貴社センタに対して、CAFISセンタから「終了予告指令」を送信する。

「終了予告指令」送信後に端末および貴社センタから新たな要求電文を受信した場合に、CAFISセンタは「CAFISセンタ終了」の旨の応答電文を送信する。

(2) 終了予告指令送受信

「終了予告指令」を受信した貴社センタは、「終了準備完了報告」を送信し、新たな要求電文をCAFISセンタに送信しない。

(3) 終了準備完了報告受信

CAFISセンタは、貴社センタから「終了準備完了報告」を受信した場合に、仕掛け電文の監視処理を行う。

なお、貴社センタから規定時間内に「終了準備完了報告」を受信しなかった場合、CAFISセンタは、貴社センタをオンライン終了とし、仕掛け状態となっている貴社センタ宛の電文を全て保留し、当該電文を送信した端末または仕向センタに、「被仕向センタ終了」の旨の応答電文を送信する。

(4) 仕掛け電文監視

「終了予告指令」送信時に、完了待ち状態の電文を仕掛け電文とし、仕掛け電文が無くなった時点で仕掛け電文監視を完了する。

なお、仕掛け電文監視中にタイムアウトや異常認識により、完結しなかった仕掛け電文は、CAFIS折返し業務電文を除き、CAFISセンタで保留する。

仕掛け電文処理一覧を表2.1.2-1に、各処理概要図を図2.1.2-2~11に示す。

表 2.1.2-1 仕掛電文処理一覧

項番	仕向	完了条件	図 番
1	端末	一般電文の完結	図 2.1.2-2
2		一般電文のタイムアウトをCAFISが検出	図 2.1.2-3
3		端末回線の障害をCAFISが検出	図 2.1.2-4
4		被仕向センタの障害をCAFISが検出	図 2.1.2-5
5	センタ	一般および障害電文の完結	図 2.1.2-6
6		一般および障害電文のタイムアウトをCAFISが検出	図 2.1.2-7
7		一般および障害電文のタイムアウトを仕向センタが検出	図 2.1.2-8
8		仕掛電文処理中に仕向センタが終了指令を受信	図 2.1.2-9
9		仕向センタの障害をCAFISが検出	図 2.1.2-10
10		被仕向センタの障害をCAFISが検出	図 2.1.2-11

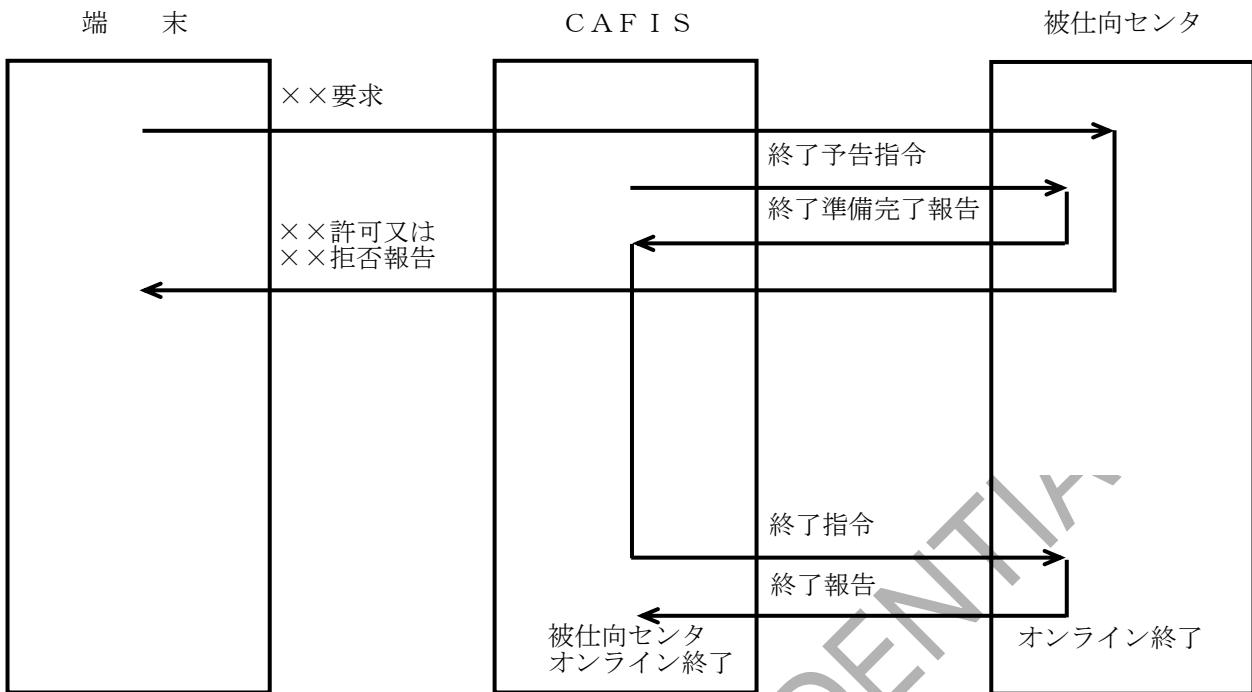
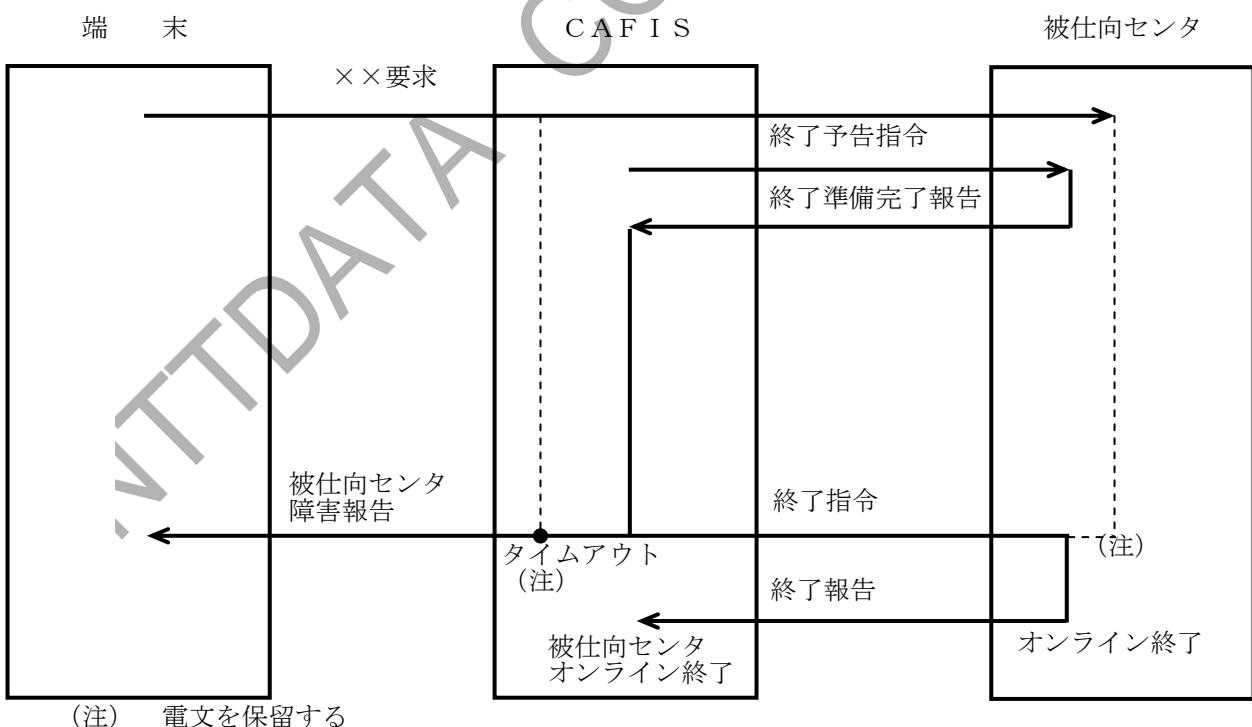


図 2.1.2-2 一般電文完結の場合



(注) 電文を保留する

図 2.1.2-3 一般電文のタイムアウトを CAFIS が検出した場合

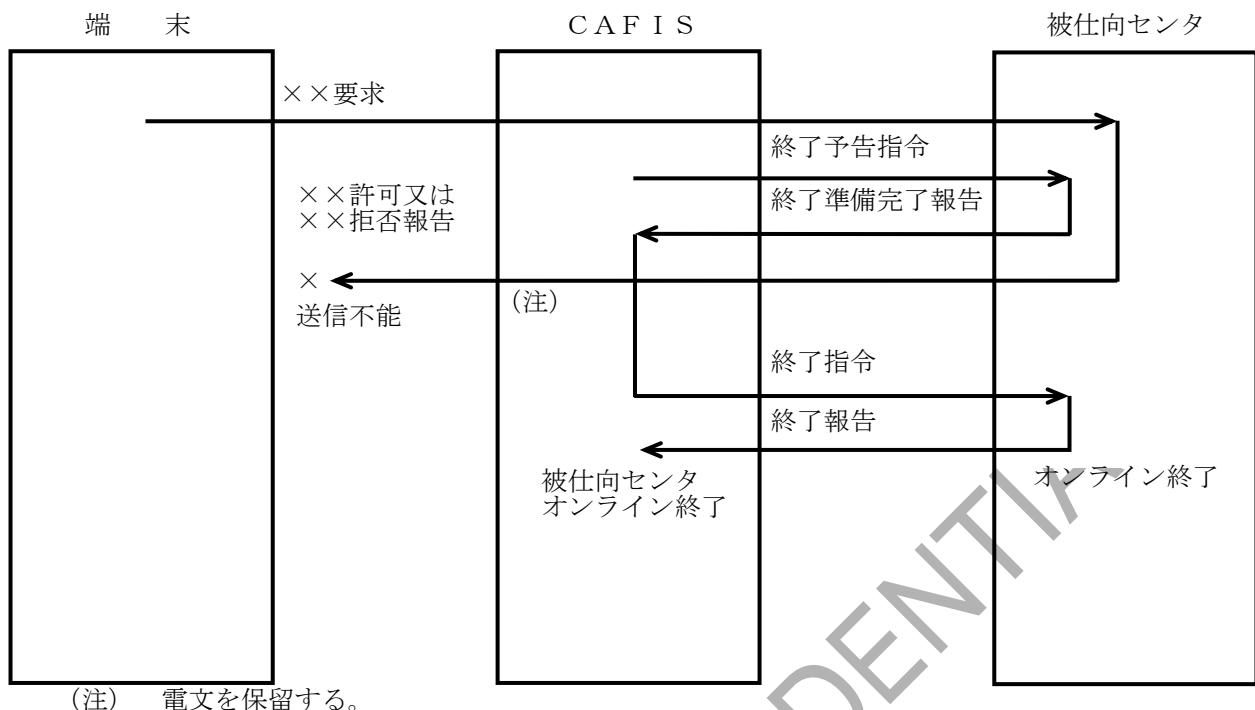


図 2.1.2-4 端末回線の障害を CAFIS が検出した場合

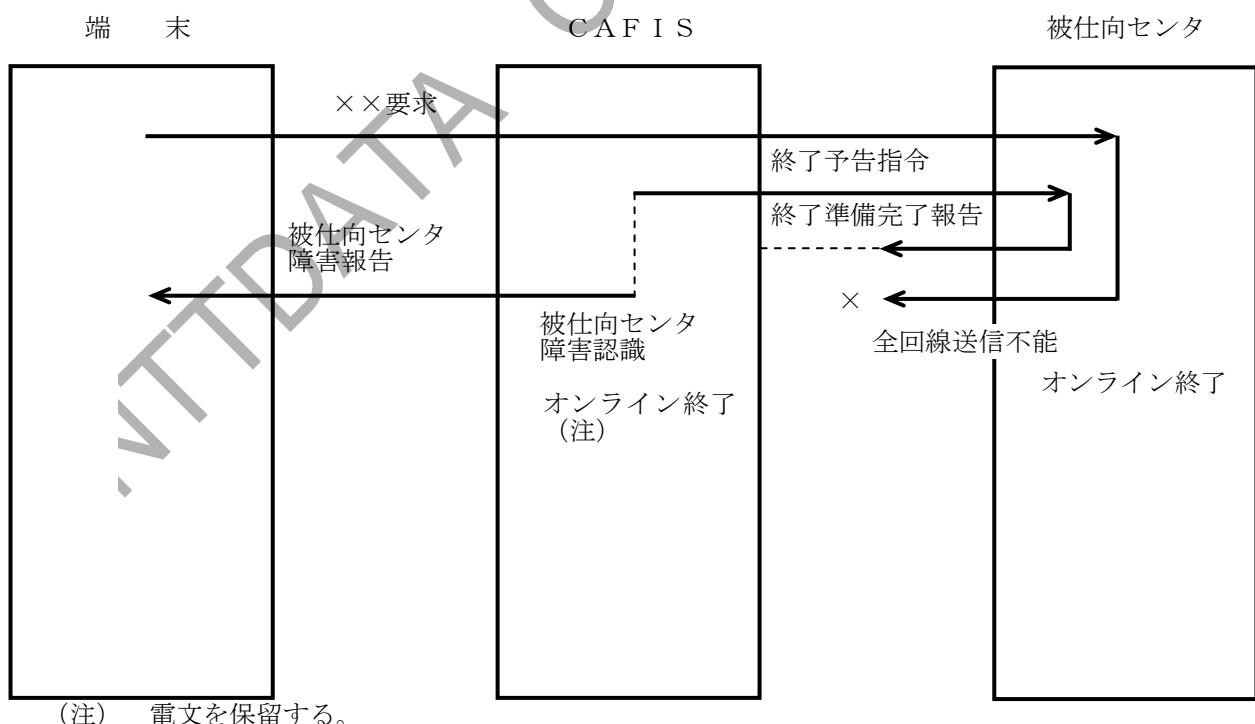
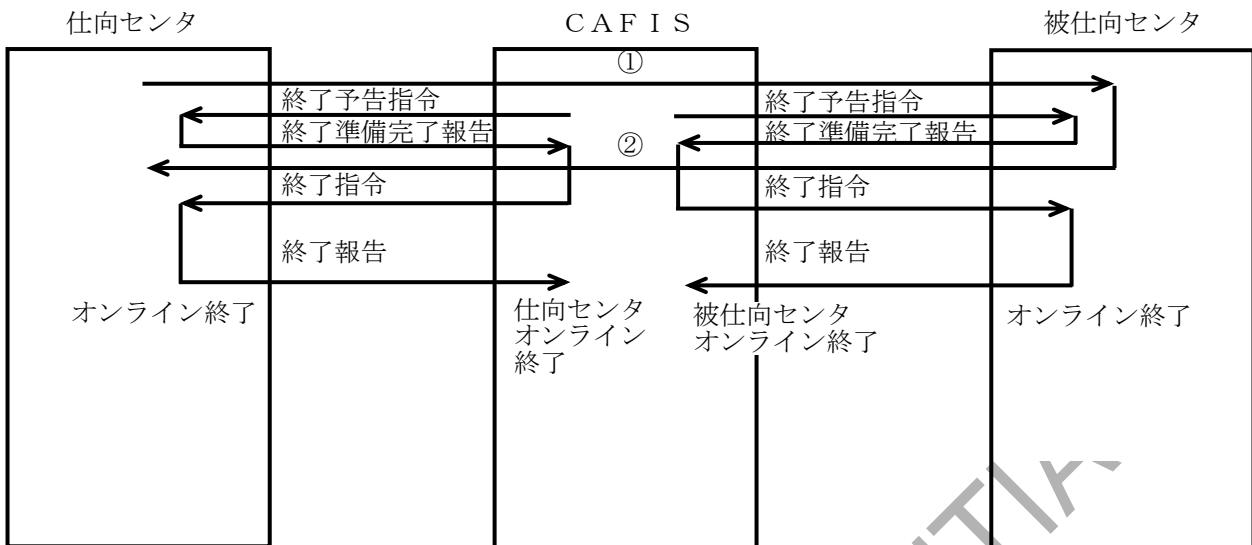
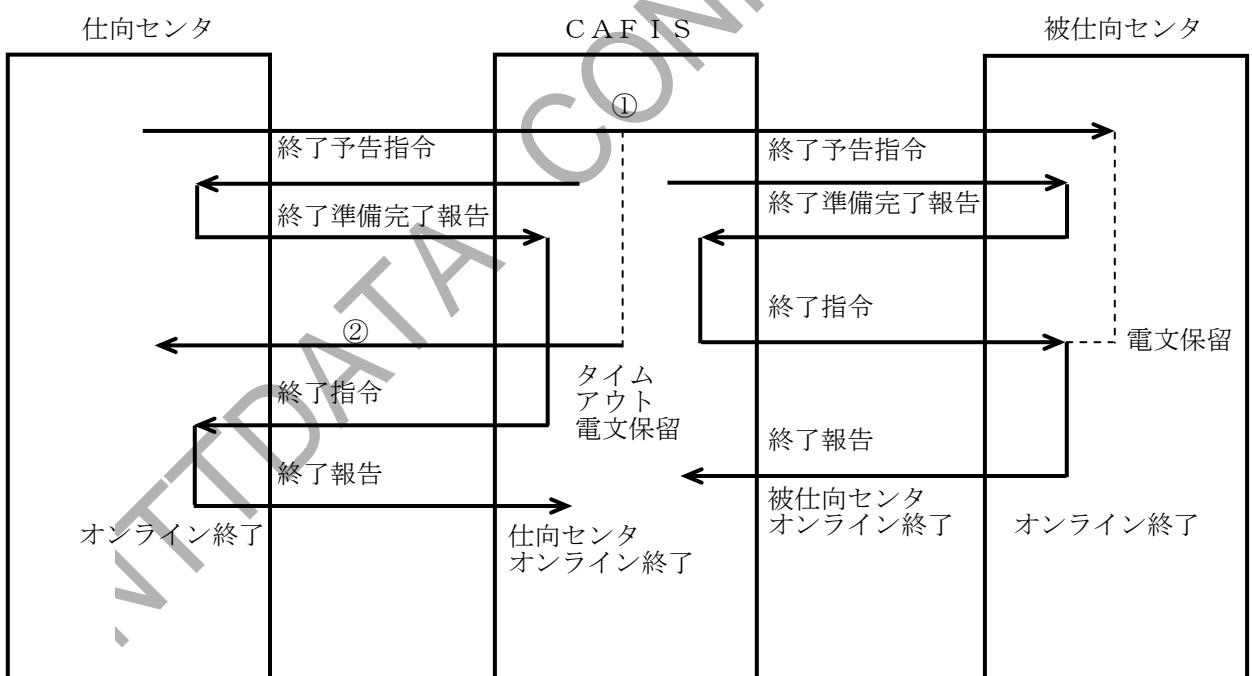


図 2.1.2-5 被仕向センタの障害を CAFIS が検出した場合



(注) ①は××要求、取消（再）指令又は取消確認（再）指令である。
②は①の応答電文である。

図 2.1.2-6 一般及び障害電文完結の場合



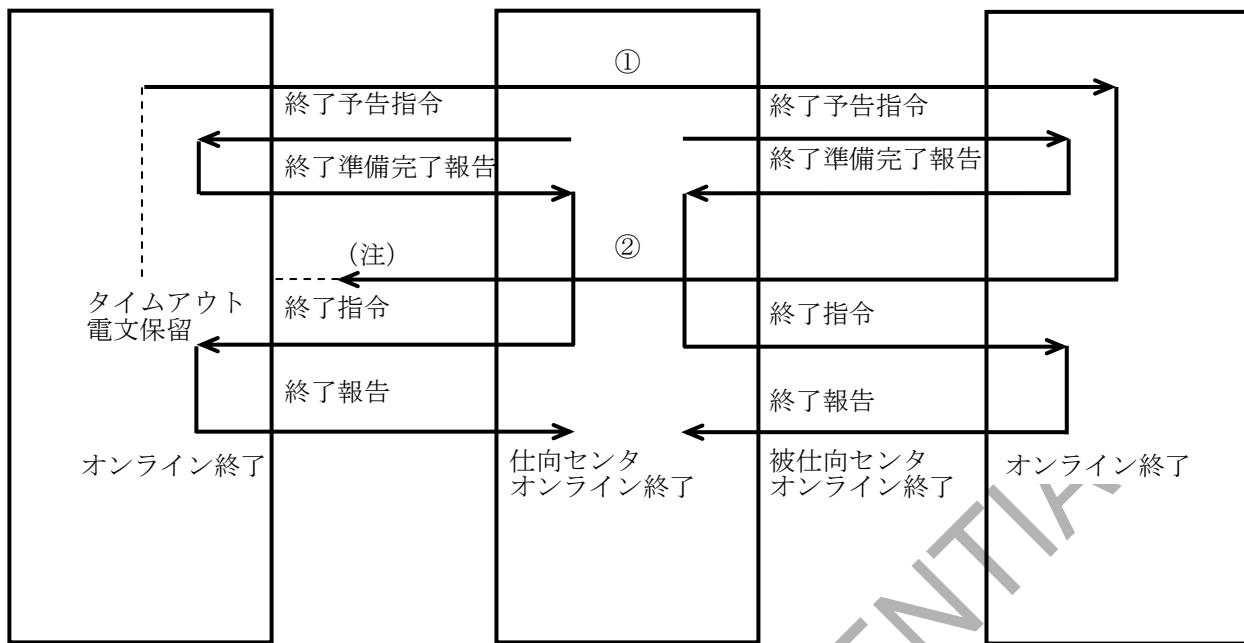
(注) ①は××要求、取消（再）指令又は取消確認（再）指令である。
②は異常報告、取消報告又は取消確認報告である。

図 2.1.2-7 一般及び障害電文のタイムアウトを CAFIS が検出した場合

仕向センタ

CAFIS

被仕向センタ



(注) ①は××要求、取消（再）指令又は取消確認（再）指令である。
②は①の応答電文である。

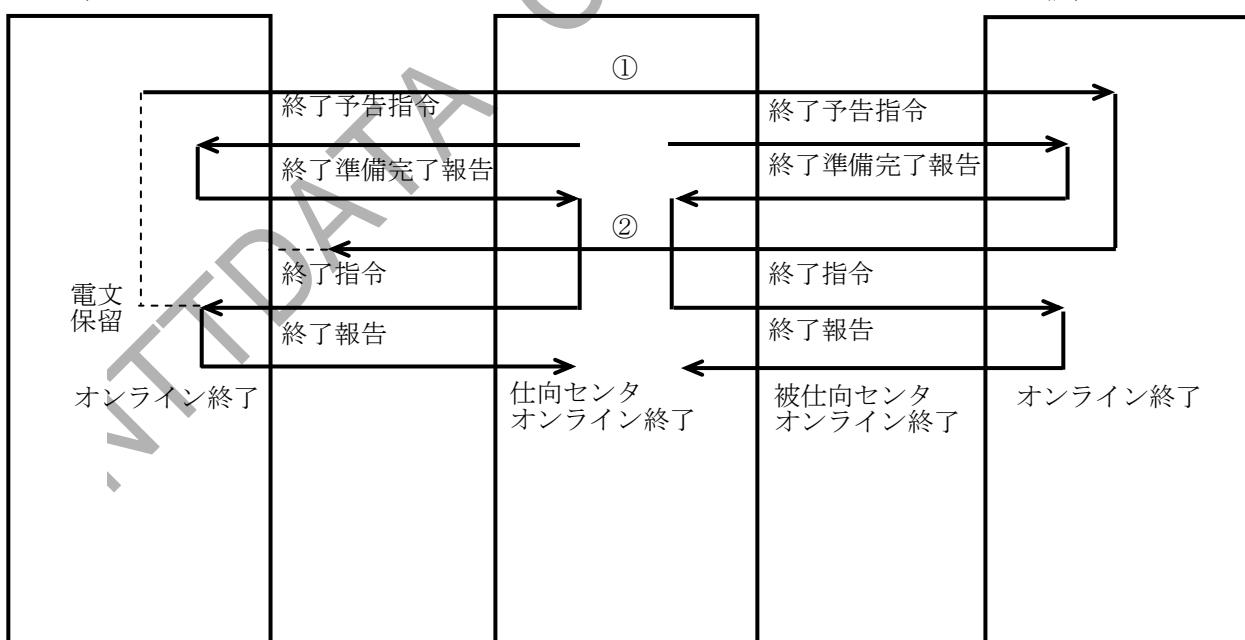
(注) CAFISセンタは正常送信したが、貴社センタは正常受信しなかった状態を示す。以降同様の表現で記述する。

図 2.1.2-8 一般及び障害電文のタイムアウトを仕向センタが検出した場合

仕向センタ

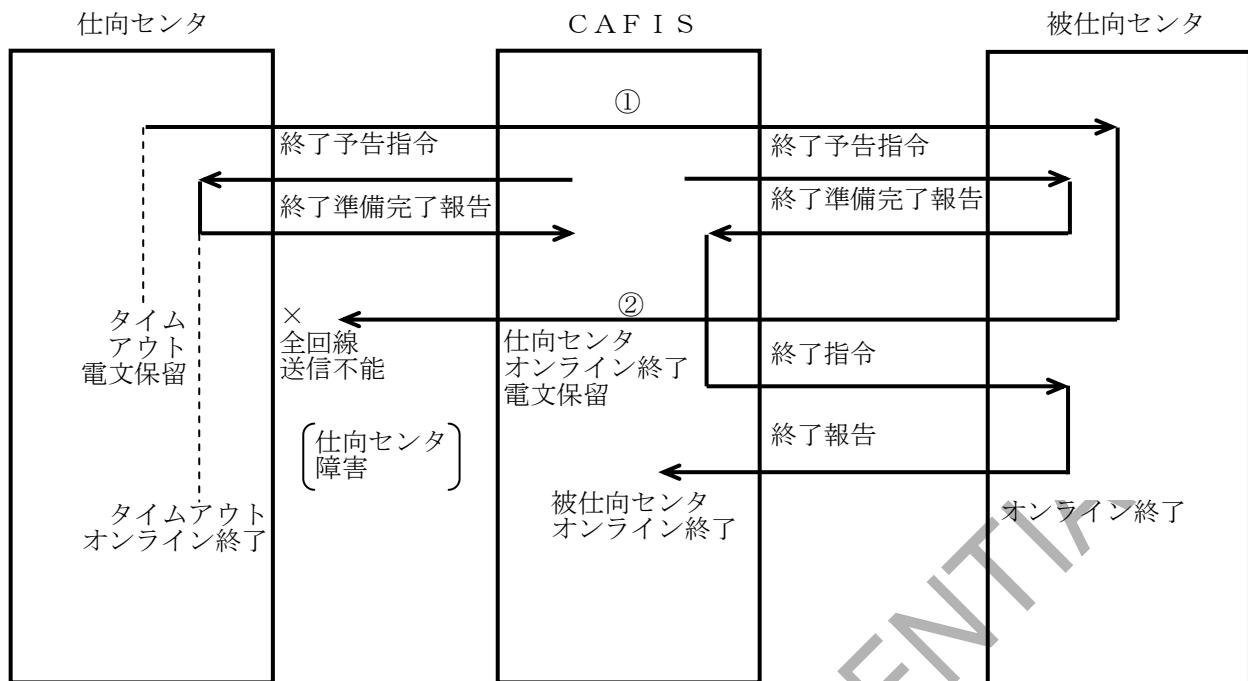
CAFIS

被仕向センタ



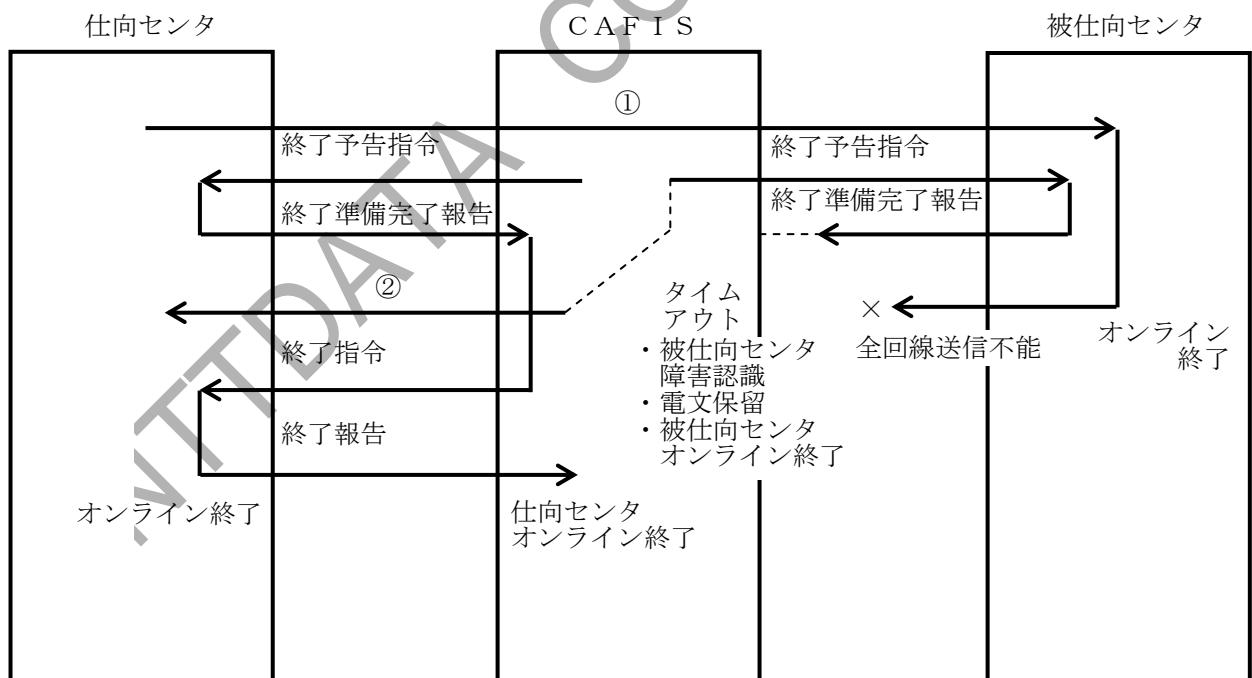
(注) ①は××要求、取消（再）指令又は取消確認（再）指令である。
②は①の応答電文である。

図 2.1.2-9 仕掛電文処理中に仕向センタが終了指令を受信した場合



(注) ①は××要求、取消（再）指令又は取消確認（再）指令である。
②は①の応答電文である。

図 2.1.2-10 仕向センタの障害をCAFISが検出した場合



(注) ①は××要求、取消（再）指令又は取消確認（再）指令である。
②は異常報告、取消報告又は取消確認報告である。

図 2.1.2-11 被仕向センタの障害をCAFISが検出した場合

- (5) カウンタ通知送信
CAFISセンタは、「カウンタ通知」が「有」または「必要」で契約された貴社センタに対し、契約内容に応じた電文内容の「カウンタ通知」を送信する。
- (6) カウンタ通知受信
「カウンタ通知」を受信した貴社センタは、「カウンタ完了報告」を送信する。
- (7) カウンタ完了報告受信
CAFISセンタは、貴社センタから「カウンタ完了報告」を受信した場合、または、規定時間内に「カウンタ完了報告」を受信しなかった場合は、貴社センタへ「終了指令」を送信する。
- (8) 終了指令送信
CAFISセンタは、「カウンタ通知」が「無」または「不要」で契約された貴社センタの仕掛け電文監視が終了した場合、または、「カウンタ通知」が「有」または「必要」で契約された貴社センタとのカウンタ通知処理が完了した場合は、貴社センタへ「終了指令」を送信する。
- (9) 終了指令受信
「終了指令」を受信した貴社センタは、CAFISセンタへ「終了報告」を送信する。
また、規定時間内に「終了指令」を受信しなかった場合に、貴社センタはCAFISセンタとのオンラインを終了とする。
- (10) 終了報告受信
CAFISセンタは、貴社センタから「終了報告」を受信した場合、または、規定時間内に「終了報告」を受信しなかった場合に、貴社センタのオンラインを終了とする。

2. 1. 3 CAFISセンタ障害

CAFISセンタ障害時の処理手順を図 2.1.3-1 に示す。

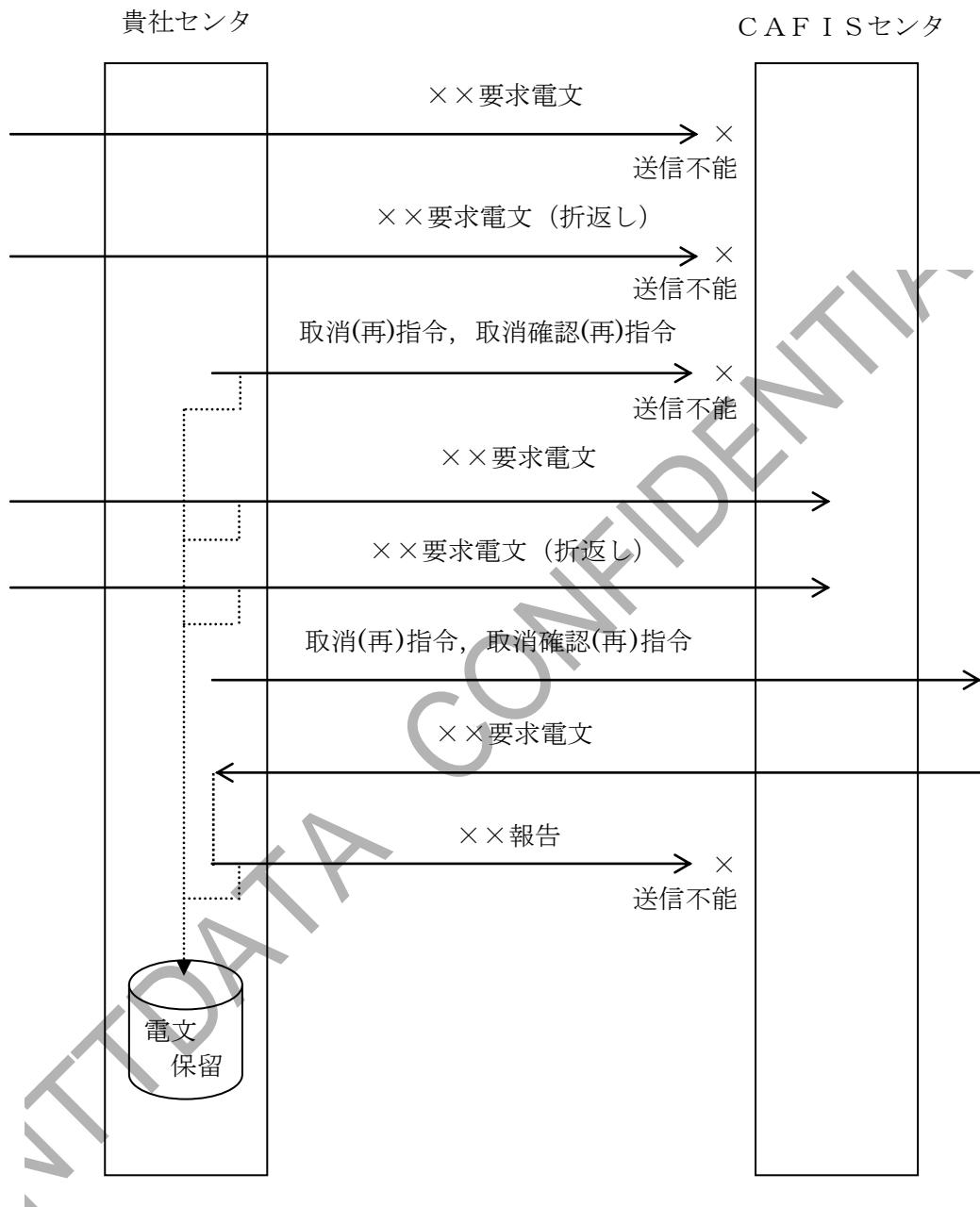


図 2.1.3-1 CAFISセンタ障害時の処理手順

(1) CAFISセンタ障害検知

貴社センタは、CAFISセンタと接続する全回線において、各接続プロトコルにおける回線障害を検知した場合は、CAFISセンタ障害とする。

(2) 貴社センタでの仕掛け電文処理

A. 貴社センタ仕向電文

(a) 送信不能電文

貴社センタでは、一般電文は保留電文対象外として処理を中止する。

また、障害電文は保留電文対象とし、オンライン再開始後に取消再指令または取消確認再指令としてCAFISセンタへ送信する。

(b) 報告待ち電文

貴社センタでは、一般要求電文は保留対象として処理を中止し、オンライン再開始後に取消確認(再)指令としてCAFISセンタへ送信する。

なお、CAFISセンタ折返し要求電文は、保留電文対象外としオンライン再開始後に当該電文を再送する。

また、障害電文は保留電文対象とし、オンライン再開始後に取消再指令または取消指令としてCAFISセンタへ送信する。

B. 貴社センタ被仕向電文

貴社センタでは、CAFISセンタへ送信不能となった報告電文は、保留電文対象としCAFISセンタ再開始後のCAFISセンタから送信される取消(再)指令または取消確認(再)指令を受信時に、当該電文の取消処理を行なう。

なお、CAFISセンタ発信となる一般電文の報告電文は、保留対象外とする。

(3) CAFISセンタでの仕掛け電文処理

CAFISセンタでは、CAFISセンタ発信となる一般電文を除く貴社センタ宛の仕掛け電文は全て保留対象とし、オンライン一斉開始時に取消(再)指令はたは取消確認(再)指令として貴社センタへ送信する。

2. 2 貴社センタ制御

2. 2. 1 貴社センタ個別開始

貴社センタは、CAFISのオンライン一斉開始とは別に以下に示す場合に、個別にCAFISセンタとのオンラインの再開始を行うことができる。

- ①貴社センタの終了後
- ②貴社センタの障害回復後
- ③貴社センタでのCAFISセンタ障害検知後

(1) 貴社センタの準備

貴社センタが個別にオンラインを再開始する場合は、あらかじめオンライン開始処理を行い、CAFISセンタからの「開始指令」を受信可能な状態、または、貴社センタから「再開始要求」を送信可能な状態とする。

(2) 開始指令による開局

開始指令による貴社センタ開局手順は、オンライン一斉開始時の開始指令による開局と同様である。（「2. 1. 1 オンライン一斉開始」(2)の「A. 開始指令による開局」と同様）

なお、CAFISセンタは、「CAFISからの開始指令」を「要」で契約された貴社センタが終了中の場合、または、貴社センタが障害中の場合に、「開始指令」を送信する。

(3) 再開始要求による開局

再開始要求による貴社センタ開局手順は、オンライン一斉開始時の再開始要求による開局と同様である。（「2. 1. 1 オンライン一斉開始」(2)の「B. 再開始要求による開局」と同様）

2. 2. 2 貴社センタ個別終了

貴社センタは、CAFISのオンライン一斉終了とは別に、CAFISセンタと個別にオンライン終了処理を行うことができる。

貴社センタのオンライン個別終了手順を、図 2.2.2-1 に示す。

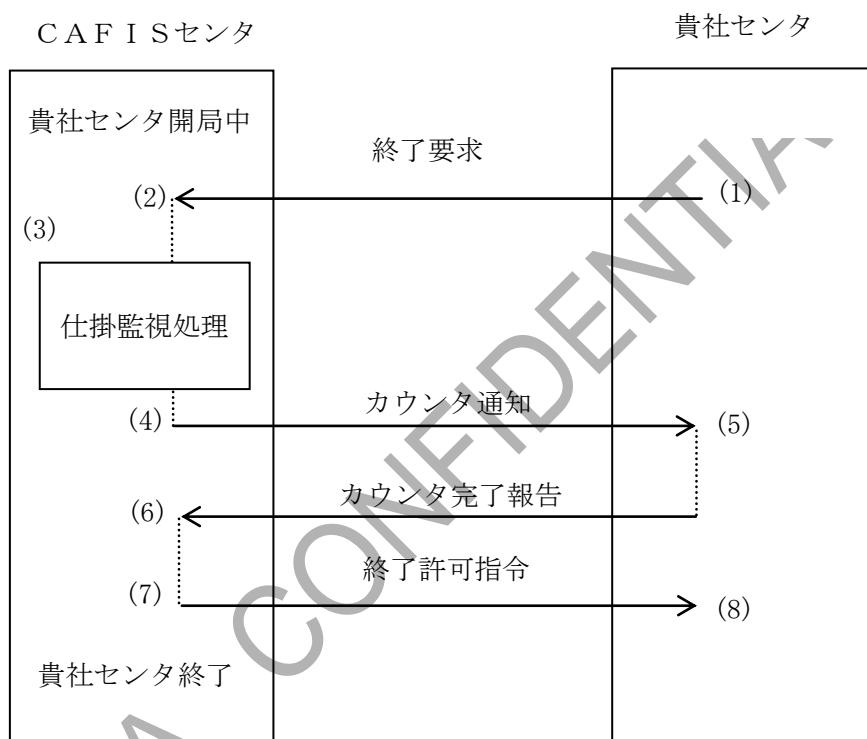


図 2.2.2-1 貴社センタのオンライン個別終了手順

(1) 終了要求送信

貴社センタは、CAFISセンタとのオンライン終了時に、CAFISセンタへ「終了要求」を送信する。

(2) 終了要求受信

CAFISセンタは、貴社センタから「終了要求」を受信した場合に、仕掛電文の監視処理を行う。

また、CAFISセンタでは「終了要求」受信後に端末および仕向センタから新たな要求電文を受信した場合は、「被仕向センタ終了中」の旨の応答電文を送信する。

(3) 仕掛け電文監視

「終了要求」受信前に、CAFISセンタが貴社センタへ送信した貴社センタ宛の要求電文により、使用中状態となった貴社センタ被仕向経路を、報告電文受信や規定時間のタイムアウト等で、全て未使用状態となるまで監視する。

仕掛け電文処理一覧を表2.2.2-1に、各処理概要図を図2.2.2-2~11に示す。

表2.2.2-1 仕掛け電文処理一覧

項番	仕向	完了条件	図番
1	端末	一般電文の完結	図2.2.2-2
2		一般電文のタイムアウトをCAFISが検出	図2.2.2-3
3		端末回線の障害をCAFISが検出	図2.2.2-4
4		被仕向センタの障害をCAFISが検出	図2.2.2-5
5	センタ	一般および障害電文の完結	図2.2.2-6
6		一般および障害電文のタイムアウトをCAFISが検出	図2.2.2-7
7		一般および障害電文のタイムアウトを仕向センタが検出	図2.2.2-8
8		仕掛け電文処理中に仕向センタが終了許可指令を受信	図2.2.2-9
9		仕向センタの障害をCAFISが検出	図2.2.2-10
10		一般および障害電文のタイムアウトをCAFISが検出	図2.2.2-11

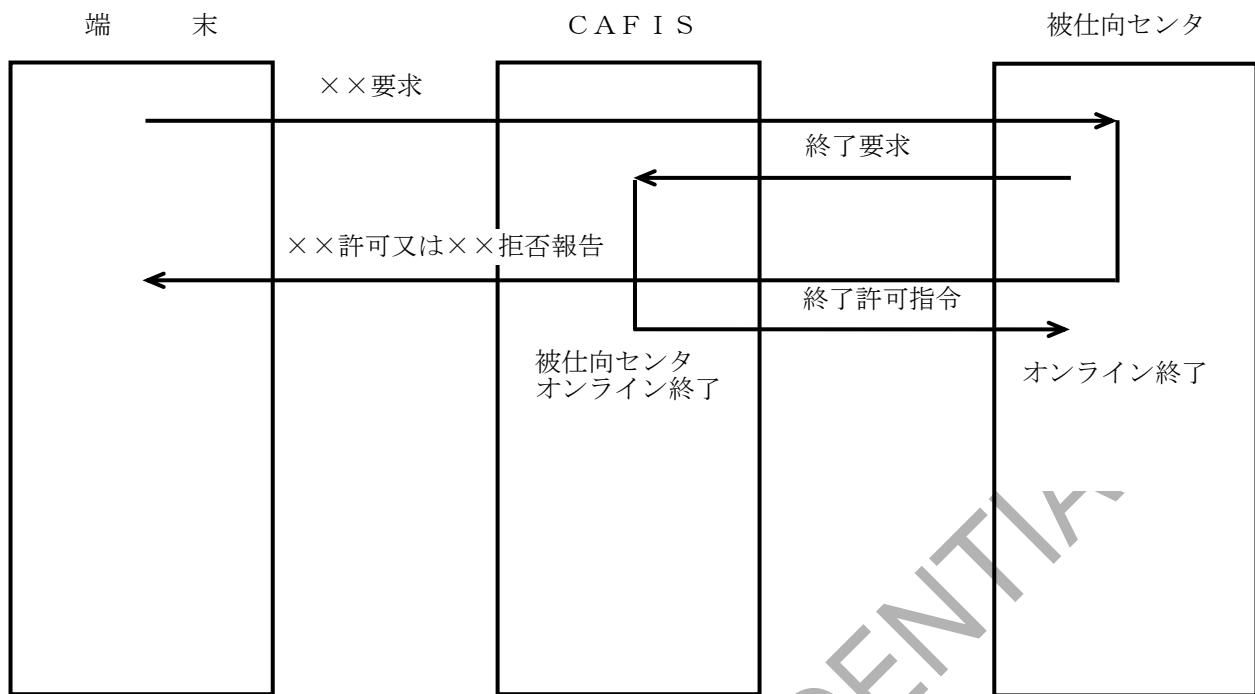


図 2.2.2-2 一般電文完結の場合

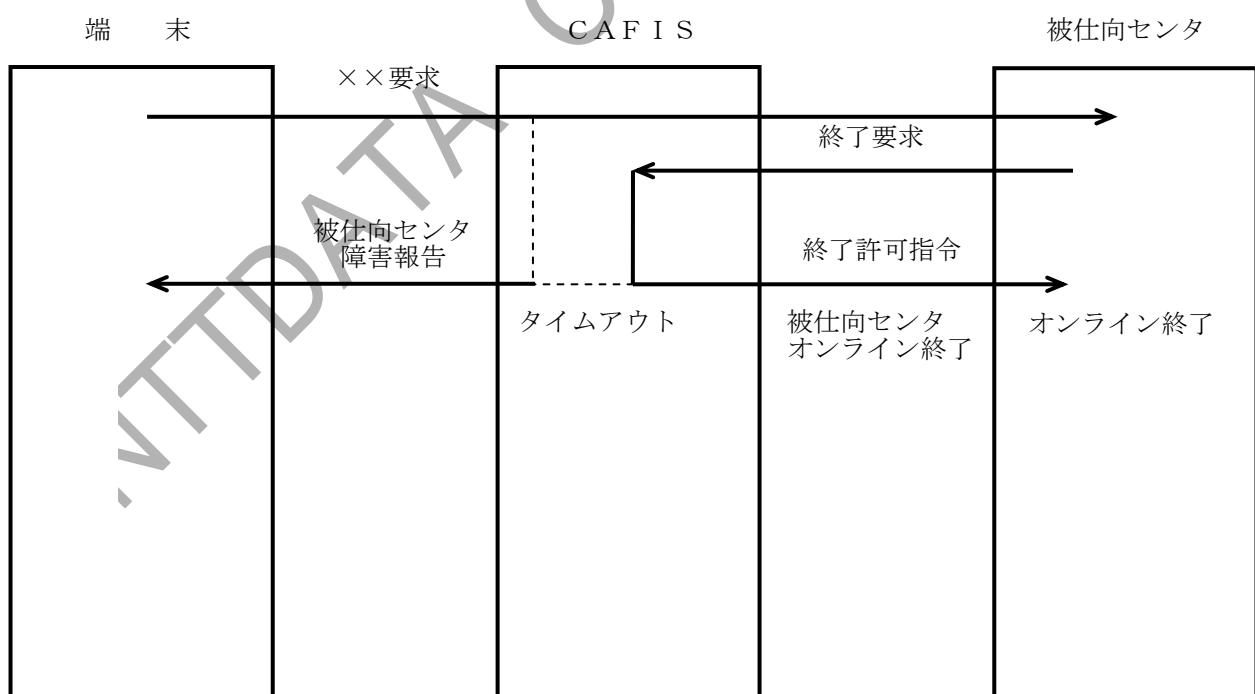
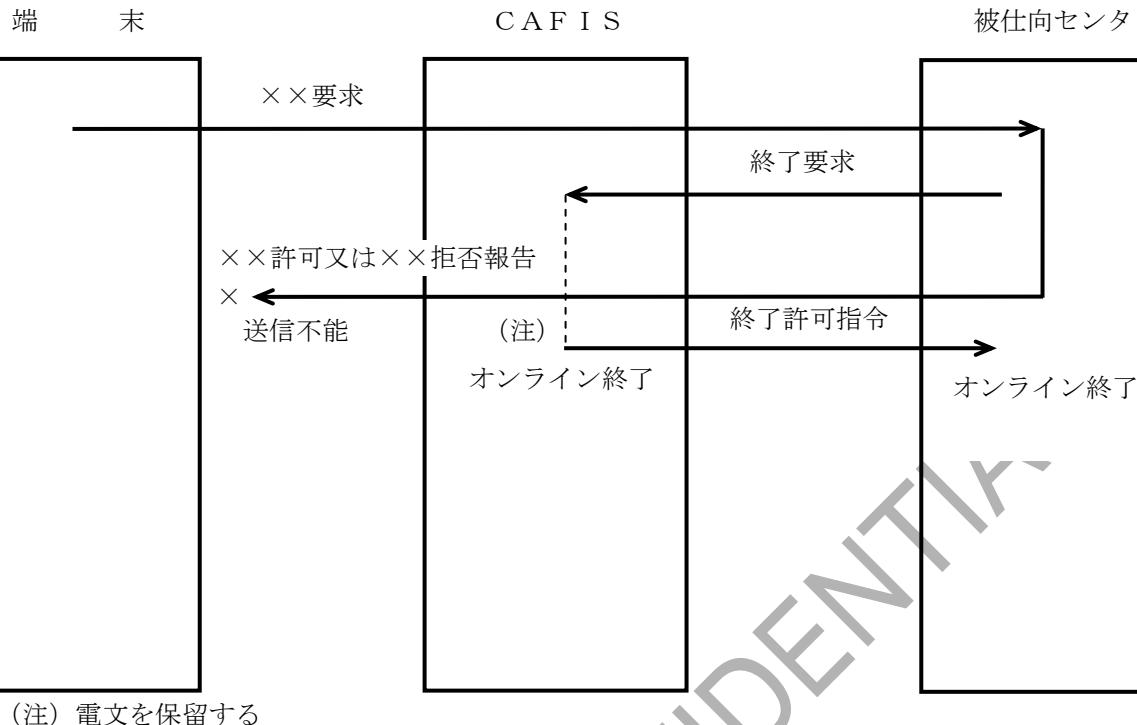
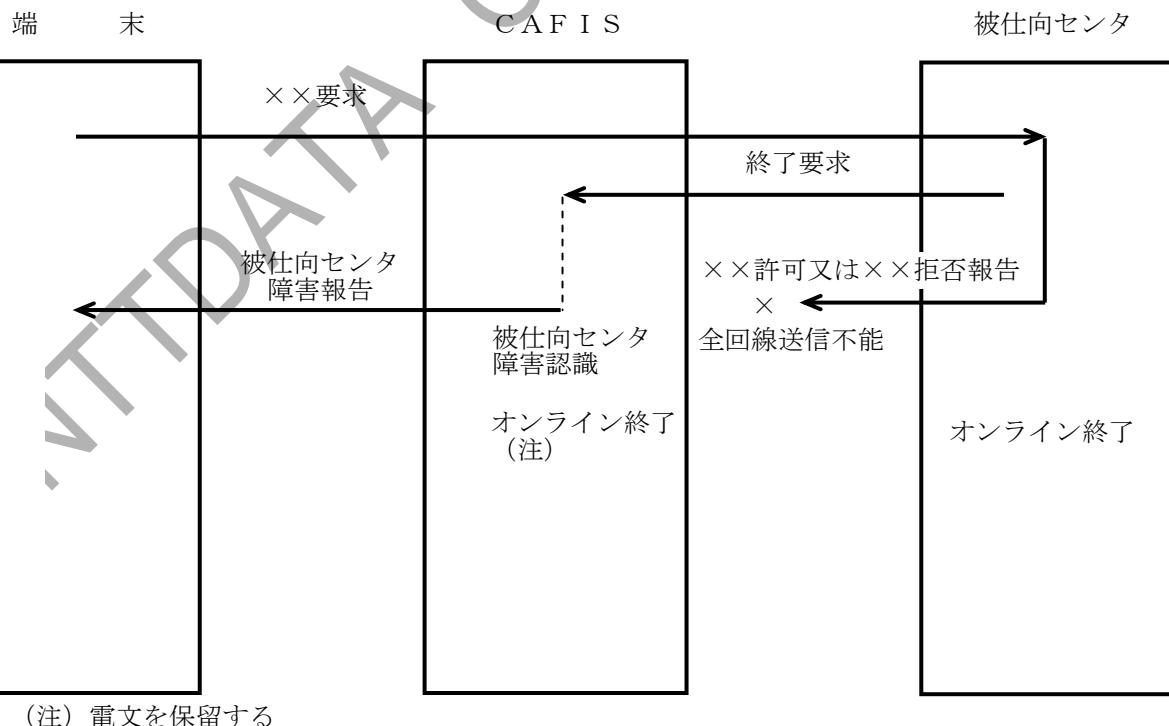


図 2.2.2-3 一般電文のタイムアウトをCAFISが検出した場合



(注) 電文を保留する

図 2.2.2-4 端末回線の障害を CAFIS が検出した場合



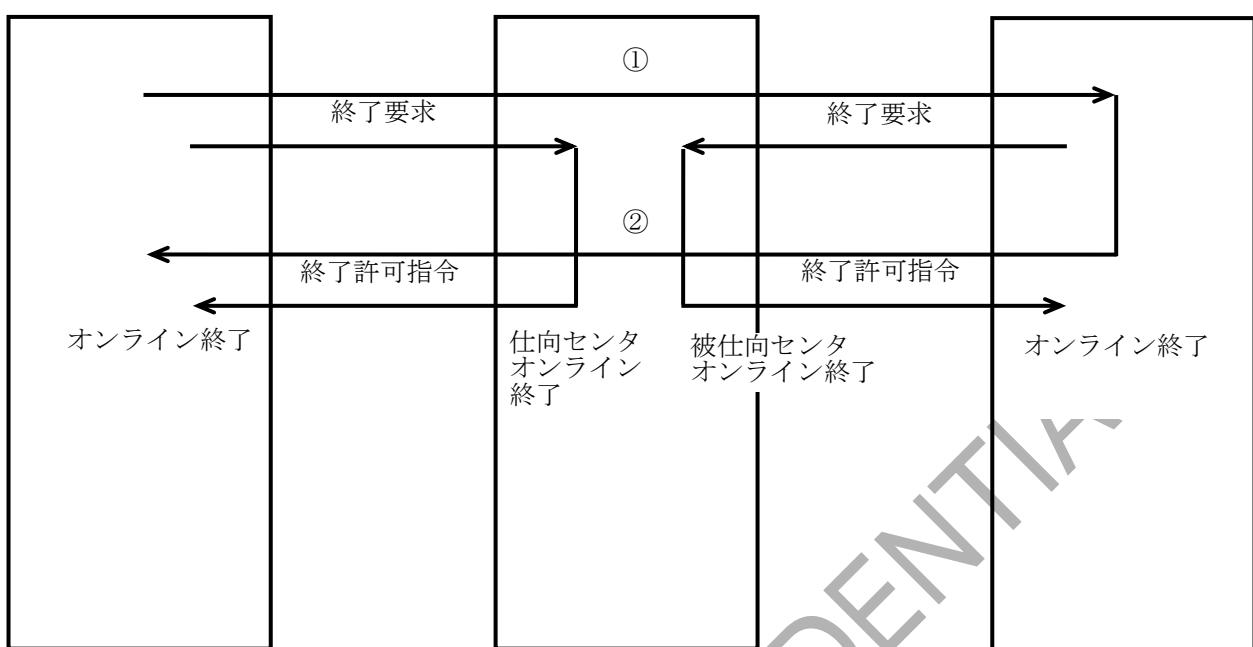
(注) 電文を保留する

図 2.2.2-5 被仕向センタの障害を CAFIS が検出した場合

仕向センタ

CAFIS

被仕向センタ



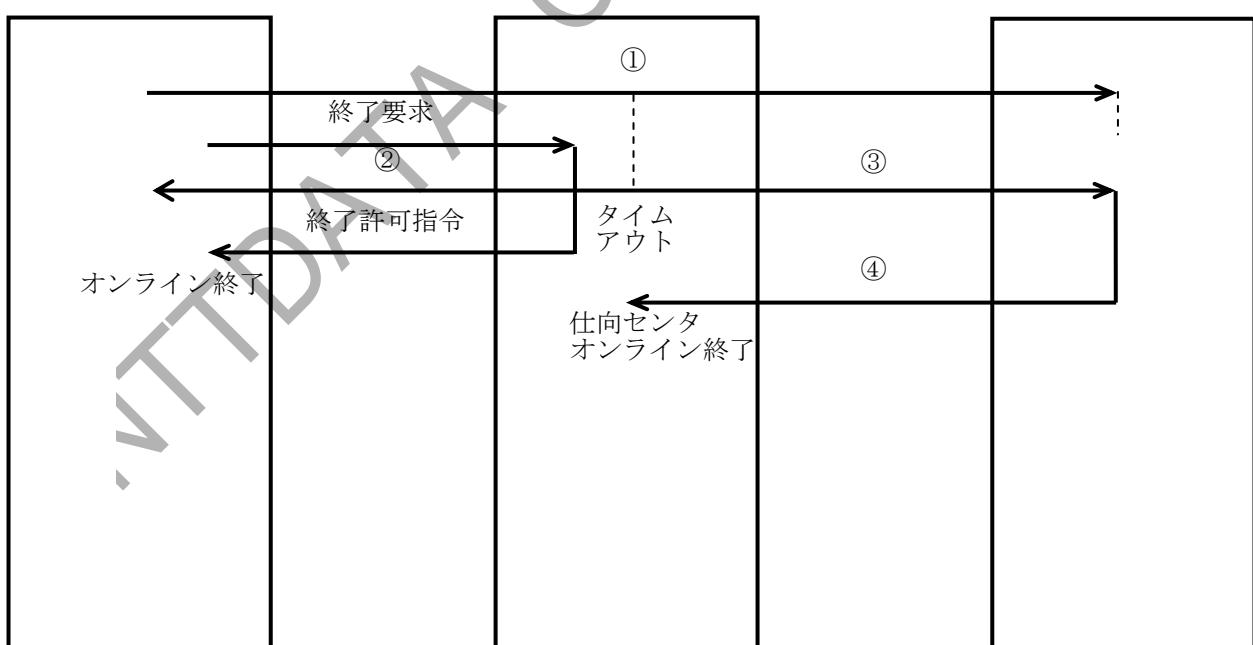
(注) ①は××要求、取消（再）指令又は取消確認（再）指令である。
 ②は①の応答電文である。

図 2.2.2-6 一般及び障害電文完結の場合

仕向センタ

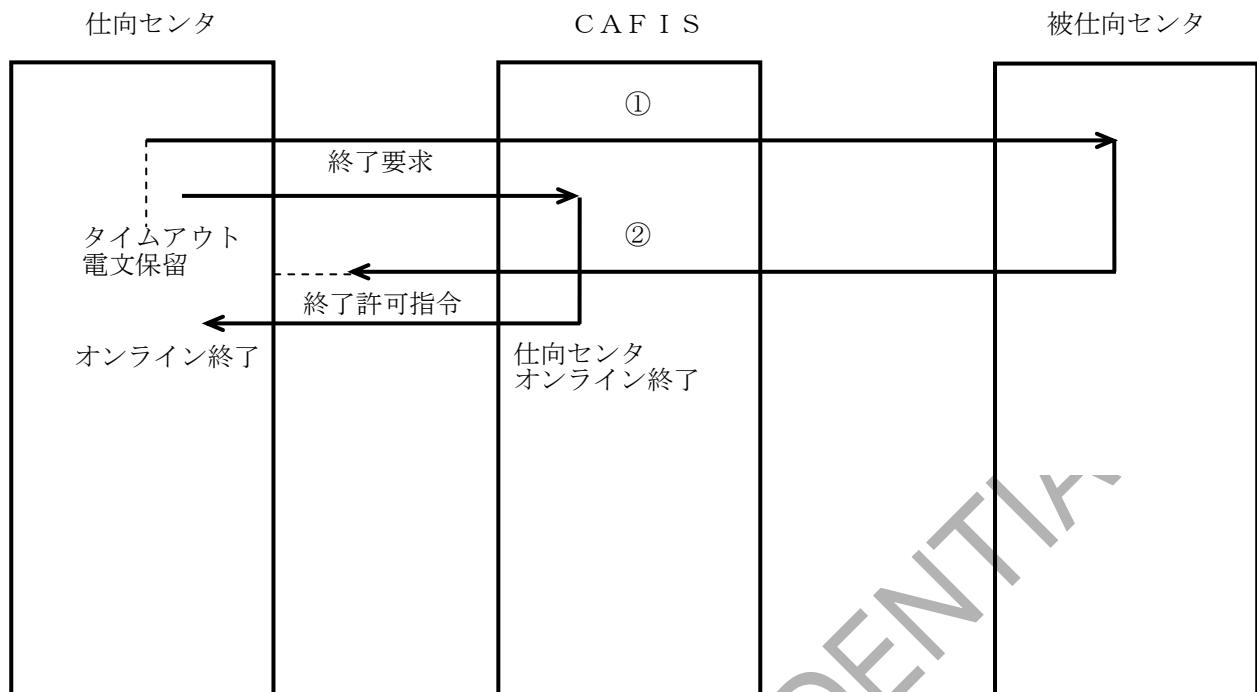
CAFIS

被仕向センタ



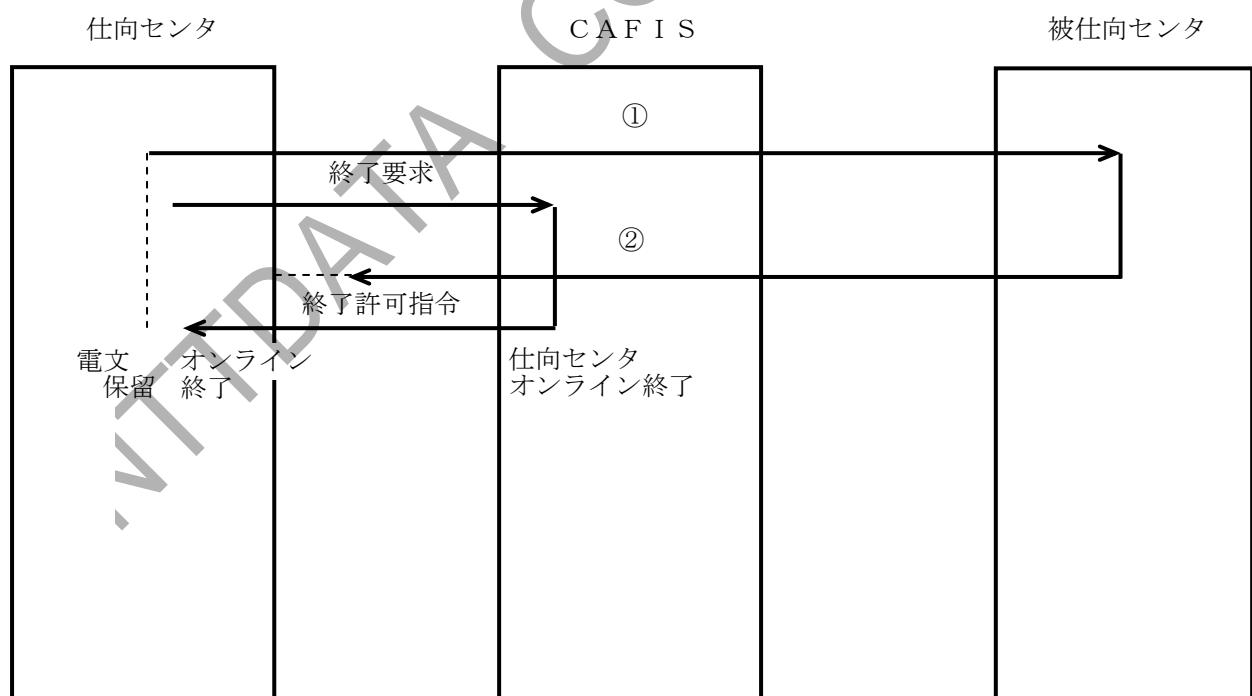
(注) ①は××要求、取消（再）指令又は取消確認（再）指令である。
 ②は異常報告、取消報告又は取消確認報告である。
 ③は取消再指令又は取消確認（再）指令である。
 ④は取消報告又は取消確認報告である。

図 2.2.2-7 一般及び障害電文のタイムアウトをCAFISセンタが検出した場合



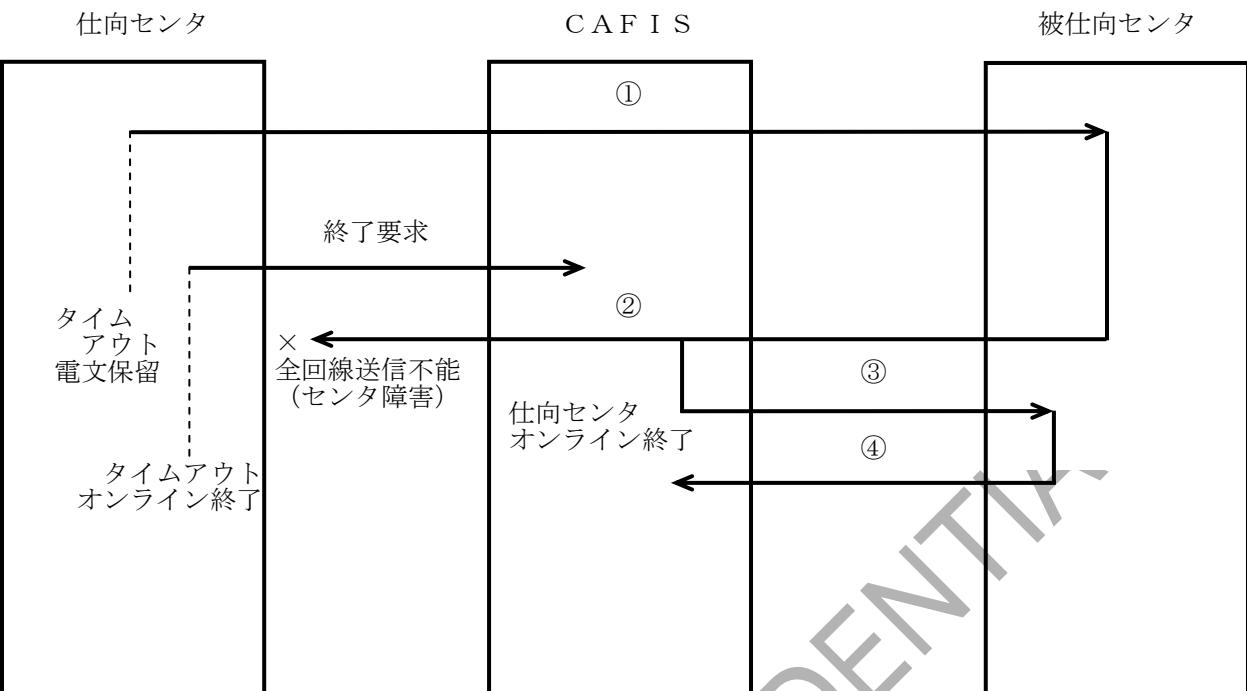
(注) ①は××要求、取消（再）指令又は取消確認（再）指令である。
②は①の応答電文である。

図 2.2.2-8 一般及び障害電文のタイムアウトを仕向センタが検出した場合



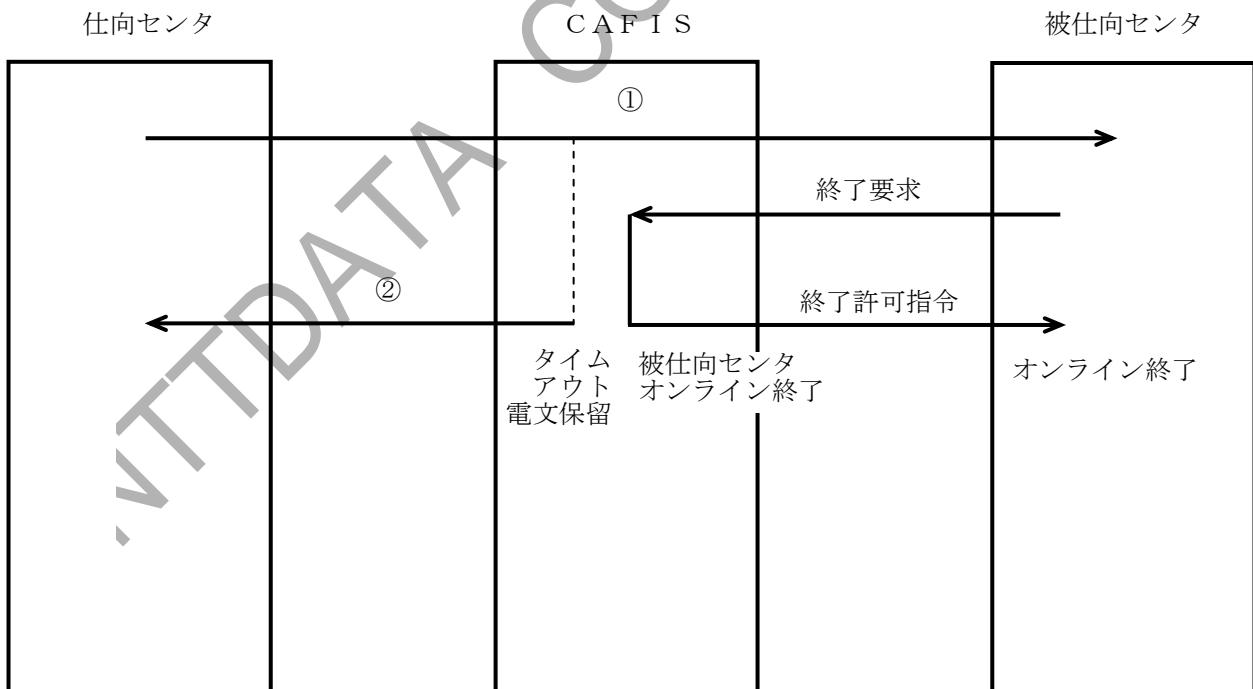
(注) ①は××要求、取消（再）指令又は取消確認（再）指令である。
②は①の応答電文である。

図 2.2.2-9 仕掛電文処理中に仕向センタが終了許可指令を受信した場合



(注) ①は××要求、取消（再）指令又は取消確認（再）指令である。
 ②は①の応答電文である。
 ③は取消（再）指令又は取消確認再指令である。
 ④は取消報告又は取消確認報告である。

図 2.2.2-10 仕向センタの障害をCAFISが検出した場合



(注) ①は××要求、取消（再）指令又は取消確認（再）指令である。
 ②は異常報告、取消報告又は取消確認報告である。

図 2.2.2-11 一般及び障害電文のタイムアウトCAFISが検出した場合

(4) カウンタ通知送信

CAFISセンタは、「カウンタ通知」が「有」または「必要」で契約された貴社センタに対し、契約内容に応じた「カウンタ通知」を送信する。

(5) カウンタ通知受信

「カウンタ通知」を受信した貴社センタは、「カウンタ完了報告」を送信する。

(6) カウンタ完了報告受信

CAFISセンタは、貴社センタから「カウンタ完了報告」を受信した場合、または、規定時間内に「カウンタ完了報告」を受信しなかった場合に、貴社センタへ「終了許可指令」を送信する。

(7) 終了許可指令送信

CAFISセンタは「カウンタ通知」が「無」または「不要」で契約された貴社センタの仕掛け電文監視が完了した場合、または、「カウンタ通知」が「有」または「必要」で契約された貴社センタとのカウンタ通知処理が完了した場合に、貴社センタへ「終了許可指令」を送信する。

(8) 終了許可指令受信

貴社センタは、「終了許可指令」を受信した場合、または、規定時間内に「終了許可指令」を受信しなかった場合に、CAFISセンタとのオンラインを終了とする。

2.2.3 貴社センタ障害

CAFISセンタは、貴社センタ障害を検知した場合に、貴社センタ障害復旧処理を行い、貴社センタ宛の電文に対しては仕向センタまたは端末に、「被仕向センタ障害中」の旨の応答電文を送信する。

(1) CAFISセンタでの自社センタ障害検知

A. 全回線障害による貴社センタ障害

CAFISセンタは、貴社センタがCAFISセンタと接続する全回線において、各接続プロトコルにおける回線障害を検知した場合に貴社センタ障害とし貴社センタの仕掛電文処理を行う。

なお、貴社センタ終了中または終了処理中に全回線障害となった場合は、貴社センタ障害とせず終了中とする。

B. 再開始要求受信による貴社センタ障害

CAFISセンタは、貴社センタとオンライン開始中に貴社センタから「再開始要求」を受信した場合に貴社センタ障害とし、貴社センタの仕掛電文処理を行う。

CAFISセンタは、受信した「再開始要求」に対する「再開始許可指令」が貴社センタへ送信正常となった場合に障害回復とみなす。

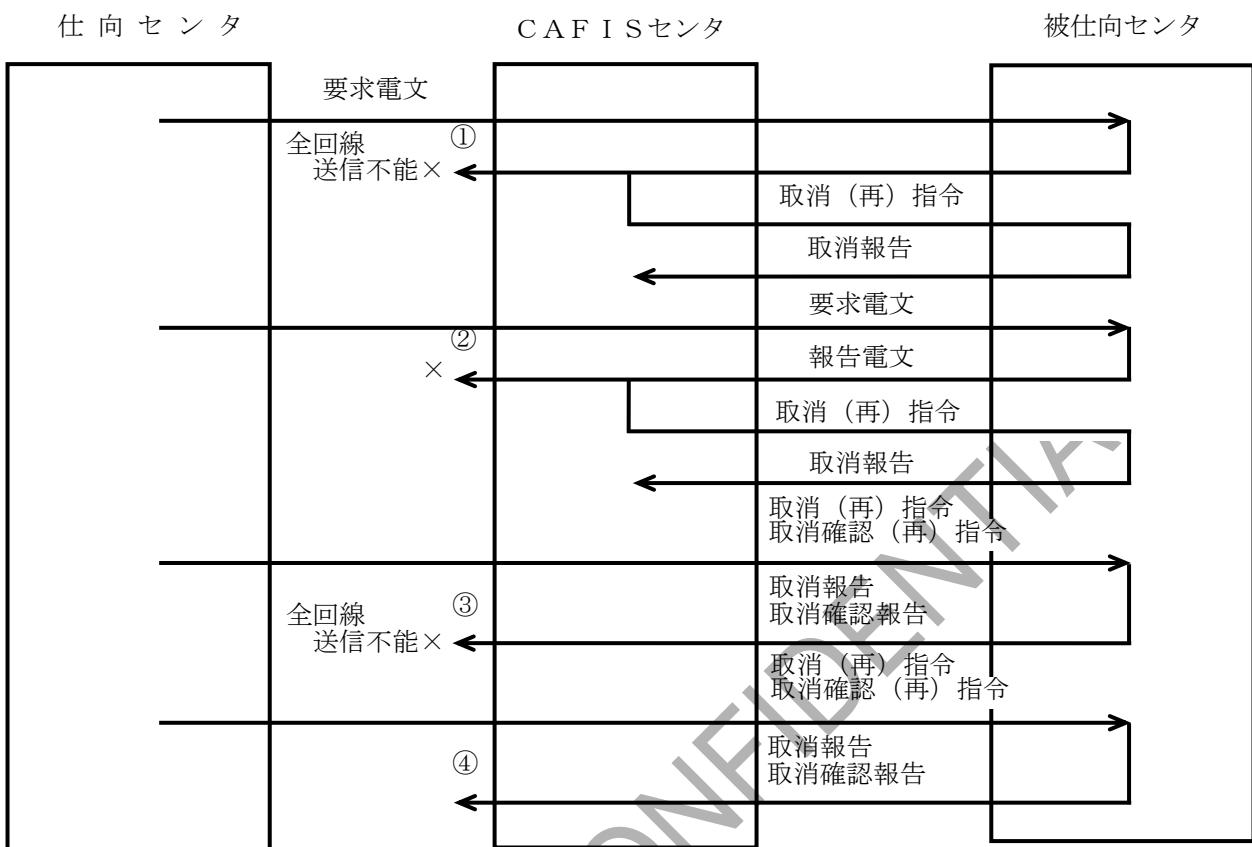
(2) CAFISセンタでの仕掛電文処理

A. 貴社センタ仕向電文

CAFISセンタでは、送信不能となった一般報告電文は、当該電文の被仕向センタへ取消(再)指令として送信する。

なお、貴社センタでは、CAFISセンタ障害時と同様に、保留電文を作成する。

仕向センタ障害時のCAFISセンタの処理を図2.2.3-1に示す。

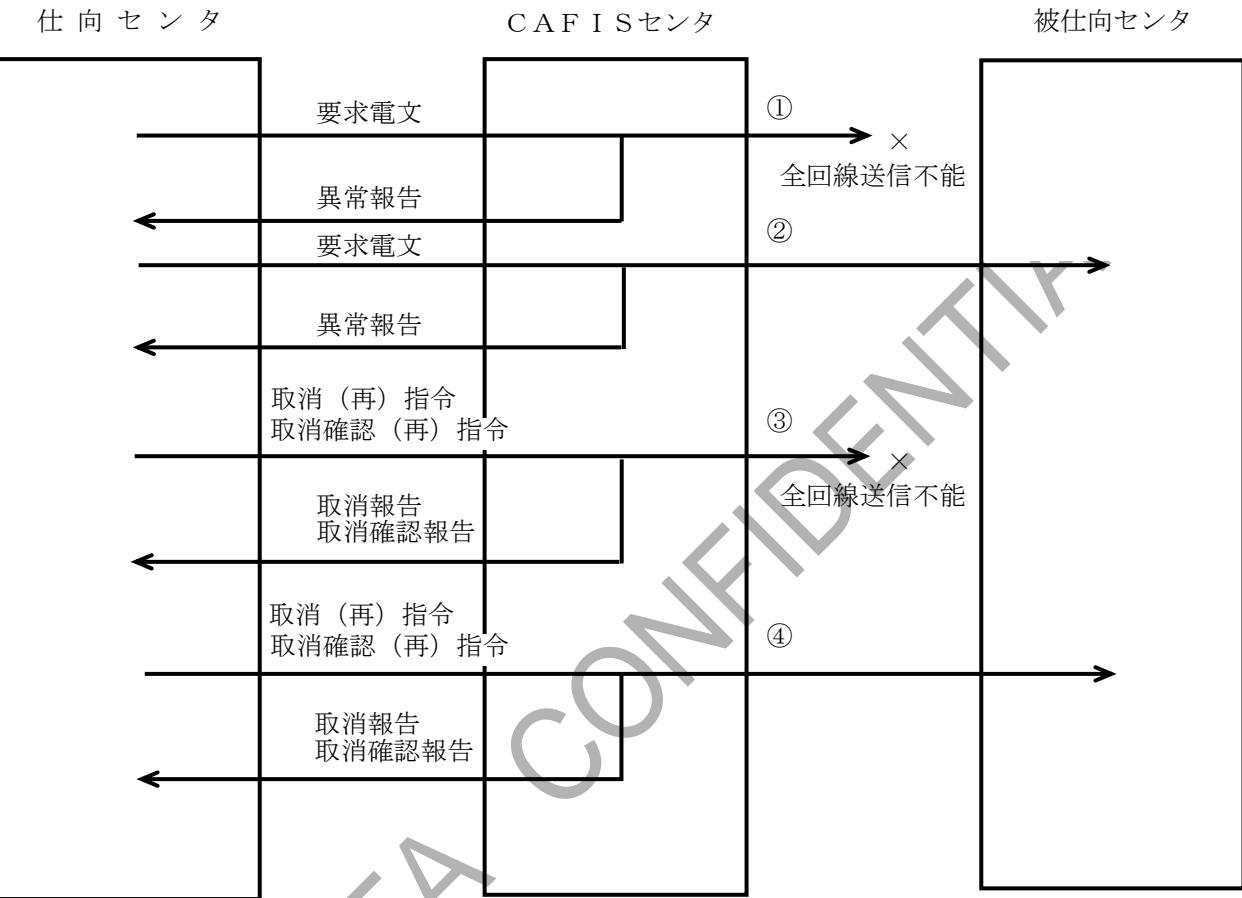


(注) ①: 仕向センタ障害時にCAFIS内で滞留した電文
 ②: 仕向センタ障害後に被仕向センタから受信した電文
 ③: 仕向センタ障害時にCAFIS内で滞留した電文
 ④: 仕向センタ障害後に被仕向センタから受信した電文

図 2.2.3-1 仕向センタ障害時のCAFISセンタ処理

B. 貴社センタ被仕向電文

被仕向センタ障害時のCAFISセンタの処理（仕向センタからの電文）を図2.2.3-2に示す。



(注) ①：被仕向センタ障害時にCAFIS内で滞留した電文
 ②：被仕向センタ障害時に被仕向センタからの報告待ちであった電文
 ③：被仕向センタ障害時にCAFIS内で滞留した電文
 ④：被仕向センタ障害時に被仕向センタからの報告待ちであった電文

図2.2.3-2 被仕向センタ障害時のCAFISセンタの処理（仕向センタからの電文）

(A) 送信不能電文

CAFISセンタでは、送信不能となった一般要求電文は、当該電文の仕向となる仕向センタまたは端末に「被仕向センタ障害中」の旨の応答電文を送信する。

また、障害電文は保留対象とし、オンライン再開始後に取消再指令または取消確認再指令として被仕向センタへ送信する。

(B) 報告待ち電文

CAFISセンタでは、報告待ち状態で被仕向センタ障害となった一般電文は、当該電文の仕向となる仕向センタまたは端末に「被仕向センタ障害中」の旨の応答電文を送信し、当該電文を保留対象とし被仕向センタのオンライン再開始後に取消確認（再）指令として送信する。

2. 3 回線制御

2. 3. 1 回線管理

経路と回線は別管理とし、経路選択と回線選択は非同期で行う。

2. 3. 2 回線選択

(1) C A F I S センタ

C A F I S センタでの回線選択は以下の通りに行う。

- ① 複数回線接続の貴社センタへ電文を送信する場合は、貴社センタ単位にランダムロビン方式で回線を選択する。
- ② 障害中の回線や、他の電文送信のため使用中の回線は回線選択対象外として回線迂回を行う

なお、回線迂回によって規定時間内に回線選択ができなかった場合は、当該電文は送信異常とする。

(2) 貴社センタ

貴社センタでの回線選択は以下の通りに行う。

- ① 複数回線接続の場合は、各回線の使用頻度が平均する回線選択方式とする。
- ② 障害中の回線や、他の電文送信のため使用中の回線は回線選択対象外として回線迂回を行う

なお、回線迂回によって規定時間内に回線選択ができなかった場合は、当該電文は送信異常とする。

2. 4 経路制御

2. 4. 1 経路種別

経路種別概要を図 2.4.1-1 に示す。

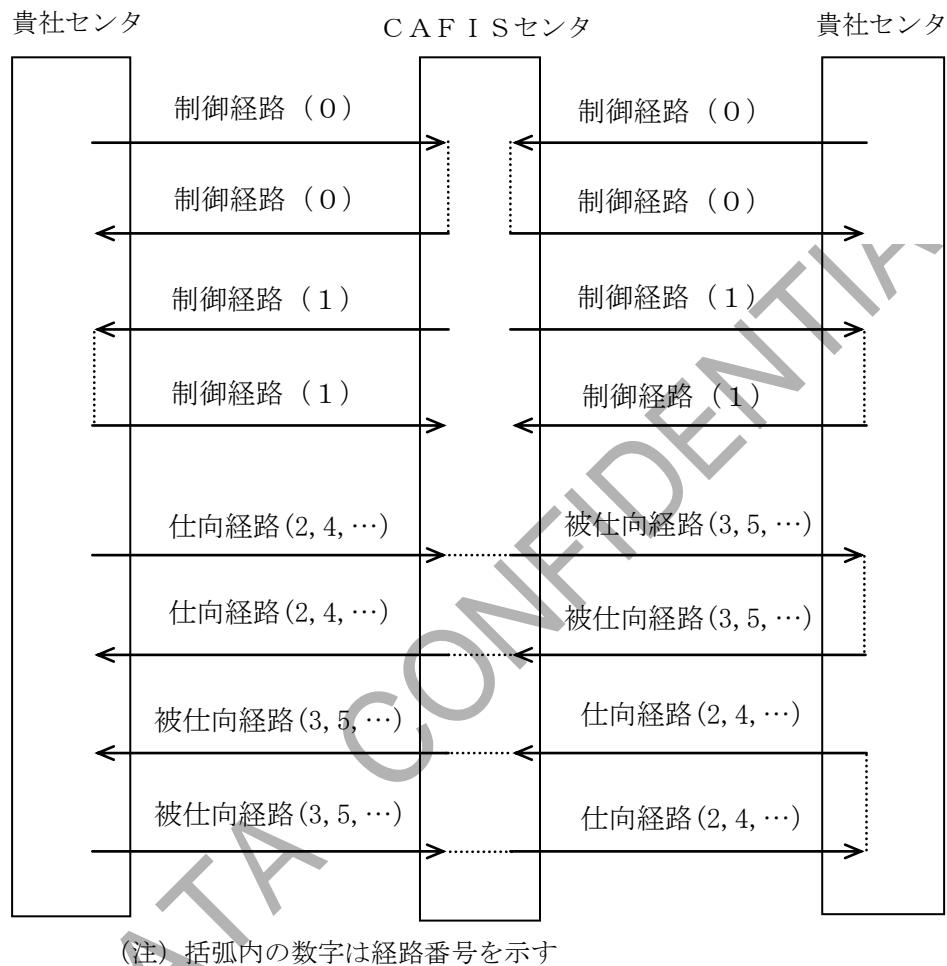


図 2.4.1-1 経路種別概要

(1) 制御経路

制御電文の送受信は制御経路を使用し、貴社センタからの要求は経路番号「0 0 0 0」を、CAFISセンタからの指令は経路番号「0 0 0 1」を使用する。

なお、テストコールは経路制御対象外とする。

(2) 仕向経路

貴社センタが一般電文や障害電文をCAFISセンタへ送信する場合は、仕向経路を使用し経路番号は「0 0 0 2」以降の偶数経路番号を使用する。

(3) 被仕向経路

CAFISセンタが一般電文や障害電文を貴社センタへ送信する場合は、被仕向経路を使用し経路番号は「0003」以降の奇数経路番号を使用する。

2. 4. 2 経路数

CAFISセンタと貴社センタ間の有効経路数は、各プロトコルにおける回線数や回線速度に応じて異なる。

2. 4. 3 経路選択

CAFISセンタでの取引発生時の被仕向経路は、経路番号の小さい未使用経路を選択する。

また、貴社センタにおける仕向経路選択においても、同様な制御方式とする。

2. 4. 4 経路保障

回線障害、貴社センタ障害、およびCAFISセンタ障害等に起因して送信する電文の経路保障条件を以下に示す。

(1) 取消確認（再）指令

取消確認（再）指令は、当該取引の要求電文と同一経路を使用して送信する。

(2) 取消再指令

取消再指令は、取消指令と同一経路を使用して送信する。

2. 5 時間監視制御

2. 5. 1 対貴社センタ監視タイマ

CAFISセンタの対貴社センタ監視タイマを表2.5.1-1に示す。

表2.5.1-1 CAFISセンタの対貴社センタ側監視タイマ

略号	名称	タイマ値	用途
t10	開始準備完了報告又は終了報告待ちタイマ	30秒	CAFISが開始指令又は終了指令を送信してから貴社センタより開始準備完了報告又は終了報告を受信する迄の時間監視
t11	開始指令送信タイマ	50秒 又は 210秒 (注1)	CAFISが開始指令送信時無応答の場合、次の開始指令を送信する迄のインターバルタイマ
t12	終了準備完了報告待ちタイマ	30秒	CAFISが終了予告指令を送信してから、貴社センタより終了準備完了報告を受信する迄の時間監視
t13	電文報告待ちタイマ	150秒 又は 55秒 (注2)	CAFISが××要求を送信してから貴社センタにより各種報告電文を受信する迄の時間監視
t15	取消報告待ちタイマ (取消確認報告)	150秒 又は 55秒 (注2)	取消(再)指令又は取消確認(再)指令に対する報告電文を受信する迄の時間監視
t16	回線障害回復報告待ちタイマ	30秒	○CAFISが回線障害回復確認指令を送信してから貴社センタより回線障害回復報告を受信する迄の時間監視 ○回線障害回復確認指令送信不能時の回線障害回復確認指令送出間隔タイマ
t21	迂回中止タイマ	25秒	回線選択時における回線迂回中止タイマ

(注1) 初期設定は手順に関わらず、210秒となります。

伝送制御手順がCAFIS-TCP/IP手順の場合のみ、

50秒と210秒から選択できます。

(注2) 端末からの電文は150秒、仕向センタからの電文は55秒

2. 5. 2 対CAFIS監視タイマ

貴社センタの対CAFIS監視タイマを表2.5.1-2に示す。

表3.2.1-2 貴社センタの対CAFIS監視タイマ

略号	名称	タイマ値	用途
t31	一般電文報告待ちタイマ	58秒	仕向センタが××要求を送信してからCAFISより各報告電文を受信する迄の時間監視
t32	障害電文報告待ちタイマ	58秒	障害電文〔取消（再）指令・取消確認（再）指令〕を仕向センタが送信してから各報告電文を受信する迄の時間監視
t33	回線障害回復報告待ちタイマ	30秒	○貴社センタが回線障害回復確認指令を送信してからCAFISより回線障害回復報告を受信する迄の時間監視 ○回線障害回復確認指令送信不能時の回線障害回復確認指令送出間隔タイマ
t34	再開始許可指令待ちタイマ	30秒	○貴社センタが再開始要求を送信してからCAFISより再開始許可指令を受信する迄の時間監視
t35	終了許可指令待ちタイマ	12分 30秒	○貴社センタが終了要求を送信してからCAFISより終了許可指令を受信する迄の時間監視 ○貴社センタが終了準備完了報告を送信してからCAFISより終了指令を受信する迄の時間監視
t36	再開始要求送出間隔タイマ	任意	貴社センタが再開始要求送信時に無応答の場合、次の再開始要求を送信する迄の時間監視

• VTTDATA CONFIDENTIAL

第3章 機能仕様

• VTTDATA CONFIDENTIAL

(Blank Page)

• VTTDATA CONFIDENTIAL

第3章 機能仕様

3. 1 電文仕様

3. 1. 1 電文種別

CAFISで使用する制御電文、および障害電文の電文種別一覧を表3.1.1-1に示す。

表3.1.1-1 電文種別一覧（1／2）

項目番号	電文区分	電文種別	電文名	備考
1	制御電文	0010	開始指令	
2		0120	開始準備完了報告	
3		7020	再開始要求	
4		7110	再開始許可指令	
5		0610	終了予告指令	
6		0620	終了準備完了報告	
7		0720	終了要求	
8		0810	終了許可指令	
9		0910	終了指令	
10		0920	終了報告	
11		9210	回線障害回復確認指令	
12		9220	回線障害回復報告	
13	障害電文	8910	取消指令	
14		8920	取消再指令	
15		8930	取消確認指令	
16		8940	取消確認再指令	
17		8950	取消報告	
18		8960	取消確認報告	
19		8970	異常報告	

表 3.1.1-1 電文種別一覧（1／2）

項番	電文区分	電文種別	電 文 名	備考
20	一般電文	3510	その他要求	
21		3520	その他許可報告	
22		4110	カウンタ通知	
23		4120	カウンタ完了報告	
24		4910	カウンタ照会要求	
25		4920	カウンタ照会報告	
26		8970	異常報告	

(注) 他の一般電文については、各個別業務編で記述する。

3. 1. 2 電文処理形態

制御電文処理形態を表 3.1.2-1 に、一般電文処理形態を表 3.1.2-2 に、障害電文処理形態を表 3.1.2-3 に示す。

表 3.1.2-1 制御電文処理形態

処 理	電 文 種 別	通 信 方 向			発 生 条 件
			CAFIS センタ	貴 社 センタ	
開 始 处 理	開始指令			→	CAFIS センタから貴社センタにサービス開始を指示する場合
	開始準備完了報告			←	貴社センタがサービス開始準備完了の場合
	再開始要求			←	貴社センタが障害回復した場合又は再開始する場合
	再開始許可指令			→	CAFIS センタから貴社センタにサービス開始の許可を指示する場合
終 了 处 理	終了予告指令			→	CAFIS センタから貴社センタにサービス終了の予告を指示する場合
	終了準備完了報告			←	貴社センタがサービス終了準備完了の場合
	終了指令			→	CAFIS センタから貴社センタにサービス終了を指示する場合
	終了報告			←	貴社センタがサービスを終了した場合
	終了要求			←	貴社センタがサービスを終了したい場合
試 験 处 理	回線障害回復確認指令			→	貴社センタ側の回線障害の回復を確認する場合
	回線障害回復報告			←	回線障害回復確認指令を受信した場合 (同一回線で応答する)
	回線障害回復確認指令			←	CAFIS センタ側の回線障害の回復を確認する場合
	回線障害回復報告			→	回線障害回復確認指令を受信した場合 (同一回線で応答する)

表 3.1.2-2 一般電文処理形態 (1 / 3)

処理	電文種別	通信方向			発生条件
		端末	CAFISセンタ	被仕向センタ	
一般処理 (××要求)	××要求				××業務の取扱を依頼する場合
	××要求				××要求を中継する場合
	××許可報告				被仕向センタで××業務の取扱を許可した場合
	××許可報告				CAFISセンタで××許可の通知を中継する場合
	××拒否報告				被仕向センタで××業務の取扱を拒否した場合
	××拒否報告				CAFISセンタで××拒否の通知を中継する場合
障害処理 〔障害〕 〔輻輳〕	障害報告				××要求電文を貴社へ送信時貴社センタ障害を検出した場合
	輻輳報告				××要求電文を貴社へ送信時空経路なしの場合

表 3.1.2-2 一般電文処理形態 (2/3)

処理	電文種別	通信方向			発生条件
		仕向センタ	CAFISセンタ	被仕向センタ	
一般処理 (××要求)	××要求				××業務の取扱を依頼する場合
	××要求				××要求を中継する場合
	異常報告				被仕向センタへの送信不可の場合、又は、送信したが応答を受信できなかつた場合
	××許可報告				被仕向センタで××業務の取扱を許可した場合
	××許可報告				CAFISセンタで××許可の通知を中継する場合
	××拒否報告				被仕向センタで××業務の取扱を拒否した場合
	××拒否報告				CAFISセンタで××拒否の通知を中継する場合
一般処理 CAFIS折返し オンライン試験	その他要求				CAFISセンタ折返し疎通試験を行う場合
	その他許可報告				その他要求(取扱区分: 92)を受信した場合
	異常報告				CAFISセンタで電文異常が発生した場合

(注) CAFIS折返しの電文の送信不能及びタイムアウトの場合は、障害電文を送信してはならない。

表 3.1.2-2 一般電文処理形態（3／3）

処理	電文種別	通信方向			発生条件
		仕向センタ	CAFISセンタ	被仕向センタ	
一般処理 (カウンタ通知)	カウンタ通知			→	貴社センタより「終了要求」又は「終了準備完了報告」を受信し、仕掛中処理を終了した場合
	カウンタ完了報告			←	カウンタ通知を受信した場合
一般処理 (カウンタ照会)	カウンタ照会要求	→			貴社センタより照会要求があった場合
	カウンタ照会報告		←		照会要求が許可された場合
	異常報告		←		CAFISセンタで電文異常が発生した場合

(注) 送信異常及びタイムアウト等による電文の取扱は以下による。

CAFIS折返しの電文の送信不能及びタイムアウトの場合は、障害電文を送信してはならない。

表 3.1.2-3 障害電文処理形態 (1 / 5)

処 理	電 文 種 別	通 信 方 向			発 生 条 件
		仕 向 セ センタ	CAFIS セ センタ	被 仕 向 セ センタ	
取消処理	取消指令		→		端末からの「××要求」に対する報告を貴社センタから受信後端末に正常送信できなかった場合
	取消報告		←		CAFISセンタから「取消指令」を受信した場合
取消確認処理	取消確認指令		→		端末からの「××要求」電文を貴社センタに送信したが応答を受信できなかった場合
	取消確認報告		←		CAFISセンタから「取消確認指令」を受信した場合
取消再処理	取消再指令		→		CAFISセンタより「取消（再）指令」を送信したが、CAFISセンタ又は貴社センタ障害で報告を受信できず、その後回復した場合 又、CAFISセンタより「取消（再（再）指令）」を送信したが応答がない場合
	取消報告		←		CAFISセンタより「取消再指令」を受信した場合
取消確認再処理	取消確認再指令		→		CAFISセンタより「取消確認（再）指令」を送信したがCAFISセンタ又は貴社センタの障害で報告を受信できず、その後回復した場合 又、CAFISセンタより「取消確認（再）指令」を送信したが応答がない場合
	取消確認報告		←		CAFISセンタより「取消確認再指令」を受信した場合

表 3.1.2-3 障害電文処理形態 (2/5)

処理	電文種別	通信方向			発生条件
		仕向センタ	CAFISセンタ	被仕向センタ	
取消処理	取消指令	→	↓	→	××許可報告又は××拒否報告をCAFISセンタより受信後端末機に正常送信できなかった場合
	取消報告	←	↓	→	被仕向センタへ送信後、報告を受信できなかった場合又は送信不可で再度仕向センタより障害電文を送信する必要がない場合
	異常報告	←	↓	→	被仕向センタへ送信不可の場合で、再度仕向センタより障害電文を送信する必要がある場合
	取消指令	↓	→	→	仕向センタから「取消指令」を受信した場合
	取消報告	↓	→	→	被仕向センタがCAFISセンタから「取消指令」を受信した場合
	取消報告	↓	→	→	被仕向センタから「取消報告」を受信した場合
取消処理 (CAFIS)	取消指令	↓	→	→	被仕向センタに「取消指令」が送信不可の場合で、その後被仕向センタが再開始した場合又は仕向センタに「××要求」の報告が送信不可の場合
	取消報告	↓	→	→	CAFISセンタから「取消指令」を受信した場合

表 3.1.2-3 障害電文処理形態 (3 / 5)

処 理	電 文 種 別	通 信 方 向			発 生 条 件
		仕 向 セ センタ	CAFIS セ センタ	被 仕 向 セ センタ	
取消確認処理	取消確認指令		→		「××要求」に対する報告をCAFISセンタより受信できなかった場合
	取消確認報告		←		すでに被仕向に対して取消が完了している場合
	異常報告		←		被仕向センタへ送信不可の場合で再度仕向センタより障害電文を送信する必要がある場合 当該する「××要求」を直前に受信していない場合
	取消指令			→	仕向センタから「取消確認指令」の電文を受信した場合で「××要求」の結果を受信している場合
	取消報告			←	CAFISセンタから「取消指令」を受信した場合
	取消確認報告		←		被仕向センタから「取消報告」を受信した場合
取消確認処理 (CAFIS)	取消確認指令		→		被仕向センタに「××要求」を送信したのち応答がない場合又は取消確認指令が送信不可の場合で被仕向センタがその後再開始した場合
	取消確認報告			←	CAFISセンタから「取消確認指令」を受信した場合

表 3.1.2-3 障害電文処理形態 (4 / 5)

処理	電文種別	通信方向			発生条件
		仕向センタ	CAFISセンタ	被仕向センタ	
取消再処理	取消再指令		→		被仕向センタに「取消確認指令」又は「取消確認再指令」を送信したのちに応答がない場合
	取消報告	←			すでに被仕向センタの取消が完了している場合
	異常報告	←			被仕向センタへ送信不可の場合で再度仕向センタより障害電文を送信する必要がある場合
	取消指令		→		被仕向センタの取消が完了していない場合
	取消報告		←		CAFISセンタから「取消指令」を受信した場合
	取消報告	←			被仕向センタから「取消報告」を受信した場合
取消再処理 (CAFIS)	取消再指令		→		被仕向センタに「取消確認指令」又は「取消確認再指令」を送信したのち応答がない場合又はその後被仕向センタが再開始した場合
	取消報告		←		CAFISセンタから「取消確認再指令」を受信した場合

表 3.1.2-3 障害電文処理形態 (5/5)

処理	電文種別	通信方向			発生条件
		仕向センタ	CAFISセンタ	被仕向センタ	
取消確認再処理	取消確認再指令				被仕向センタに「取消確認指令」又は「取消確認再指令」を送信したのちに応答がない場合
	取消確認報告				すでに被仕向センタの取消が完了している場合
	異常報告				被仕向センタへ送信不可の場合で再度仕向センタより障害電文を送信する必要がある場合
	取消指令				被仕向センタの取消が完了していない場合
	取消報告				CAFISセンタから「取消指令」を受信した場合
	取消確認報告				被仕向センタから「取消報告」を受信した場合
取消確認再処理 (CAFIS)	取消確認再指令				被仕向センタに「取消確認指令」又は「取消確認再指令」を送信したのちに応答がない場合又はその後被仕向センタが再開始した場合
	取消確認報告				CAFISセンタから「取消確認再指令」を受信した場合

3. 1. 3 電文構成

CAFISセンタと貴社センタ間で使用する電文構成一覧表（制御電文）を表3.1.3-1に、電文構成一覧表（一般電文）を表3.1.3-2に示す。

CONFIDENTIAL
VITTDATA

表 3.1.3-1 電文構成一覧表（制御電文）

項番	電文種別	電文種別 コード	電 文 名	長さ	共通	記事
					制御 ヘッダ部	
1	制御	0010	開始指令	63	①	
		0120	開始準備完了報告	63	①	
		7020	再開始要求	63	①	
		7110	再開始許可指令	63	①	
		0610	終了予告指令	63	①	
		0620	終了準備完了報告	63	①	
		0720	終了要求	63	①	
		0810	終了許可指令	63	①	
		0910	終了指令	63	①	
		0920	終了報告	63	①	
		9210	回線障害回復確認指令	63	①	
		9220	回線障害回復報告	63	①	

表 3.1.3-2 電文構成一覧表（一般電文）

項番	電文種別	電文種別 コード	電文名	長さ	共通制御 ヘッダ部	データ部			記事
						1-0	1-4	E	
1	その他	3510	その他要求	114	①	②	③		CAFIS 折返しオンラインテスト
		3520	その他許可報告		①	②	③		
		8970	異常報告		①	②	③		
2	カウンタ照会	4910	カウンタ照会要求	110	①	②			CAFIS 折返
		4920	カウンタ照会報告		①			②	
		8970	異常報告		①	②			
3	カウンタ通知	4110	カウンタ通知	max 324	①			②	
		4120	カウンタ完了報告		①			②	

3. 1. 4 電文様式

CAFISセンタが、端末および貴社センタ間で使用する電文構成を、以下に説明する。

(1) 基本電文構成

基本電文構成を表3.1.4-1に示す。

表 3.1.4-1 基本電文構成 (1 / 2)

項目番	送信方向	電文区分	電文構成	
1	端末 →CAFISセンタ	一般電文	業務共通ヘッダ部	各種データ部
2			47 枠	可変長(max245 枠)
3	CAFISセンタ →貴社センタ	制御電文	データ部 1-0-1	各種データ部
4			47 枠	可変長(max208 枠)
5	一般電文 障害電文		共通制御ヘッダ部	各種データ部
6			63 枠	可変長(max666 枠)
			共通制御ヘッダ部	業務共通ヘッダ部 各種データ部
			63 枠	47 枠 可変長(max245 枠)
			共通制御ヘッダ部	データ部 1-0-1 各種データ部
			63 枠	47 枠 可変長(max208 枠)

表 3.1.4-1 基本電文構成（2／2）

項番	送信方向	電文区分	電文構成						
7	貴社センタ →CAFISセンタ	制御電文	<table border="1"> <tr> <td>共通制御 ヘッダ部</td> <td></td> </tr> <tr> <td>63 枠</td><td></td> </tr> </table>	共通制御 ヘッダ部		63 枠			
共通制御 ヘッダ部									
63 枠									
8		一般電文	<table border="1"> <tr> <td>共通制御 ヘッダ部</td> <td>各種データ部</td> </tr> <tr> <td>63 枠</td><td>可変長(max700 枠)</td> </tr> </table>	共通制御 ヘッダ部	各種データ部	63 枠	可変長(max700 枠)		
共通制御 ヘッダ部	各種データ部								
63 枠	可変長(max700 枠)								
9			<table border="1"> <tr> <td>共通制御 ヘッダ部</td> <td>データ部 1-0-1</td> <td>各種データ部</td> </tr> <tr> <td>63 枠</td> <td>47 枠</td> <td>可変長(max208 枠)</td> </tr> </table>	共通制御 ヘッダ部	データ部 1-0-1	各種データ部	63 枠	47 枠	可変長(max208 枠)
共通制御 ヘッダ部	データ部 1-0-1	各種データ部							
63 枠	47 枠	可変長(max208 枠)							
10		障害電文	<table border="1"> <tr> <td>共通制御 ヘッダ部</td> <td></td> </tr> <tr> <td>63 枠</td><td></td> </tr> </table>	共通制御 ヘッダ部		63 枠			
共通制御 ヘッダ部									
63 枠									
11			<table border="1"> <tr> <td>共通制御 ヘッダ部</td> <td>各種データ部</td> </tr> <tr> <td>63 枠</td><td>可変長(max256 枠)</td> </tr> </table>	共通制御 ヘッダ部	各種データ部	63 枠	可変長(max256 枠)		
共通制御 ヘッダ部	各種データ部								
63 枠	可変長(max256 枠)								
12			<table border="1"> <tr> <td>共通制御 ヘッダ部</td> <td>データ部 1-0-1</td> <td>各種データ部</td> </tr> <tr> <td>63 枠</td> <td>47 枠</td> <td>可変長(max208 枠)</td> </tr> </table>	共通制御 ヘッダ部	データ部 1-0-1	各種データ部	63 枠	47 枠	可変長(max208 枠)
共通制御 ヘッダ部	データ部 1-0-1	各種データ部							
63 枠	47 枠	可変長(max208 枠)							
13	CAFISセンタ →端末	一般電文	<table border="1"> <tr> <td>各種データ部</td> <td></td> </tr> <tr> <td>可変長(max700 枠)</td><td></td> </tr> </table>	各種データ部		可変長(max700 枠)			
各種データ部									
可変長(max700 枠)									

* D L L 電文を除く

(2) 電文内容

① 共通制御ヘッダ部

CAFISと貴社センタ間の経路、電文種別等の共通的な項目を設定する。

共通制御ヘッダ部のフォーマットを図3.1.4-1に、共通制御ヘッダ部の項目説明を表3.1.4-1に示す。

② データ部1-4

データ部1-4のフォーマットを図3.1.4-2に、データ部1-4の項目説明を表3.1.4-2に示す。

③ データ部E

データ部Eのフォーマットを図3.1.4-3および図3.1.4-4に、データ部Eの項目説明を表3.1.4-3および表3.1.4-4に示す。

④ その他のデータ部

各業務の接続条件設計書を参照すること。

経路番号	仕向処理番	センタ識別番号	回線番号	C A F I S 处理番	仕向会社コード	仕向会社サブコード	被仕向会社サブコード	電文種別	C A F I S 处理月日
4	6	2	3	6	7	4	7	4	4

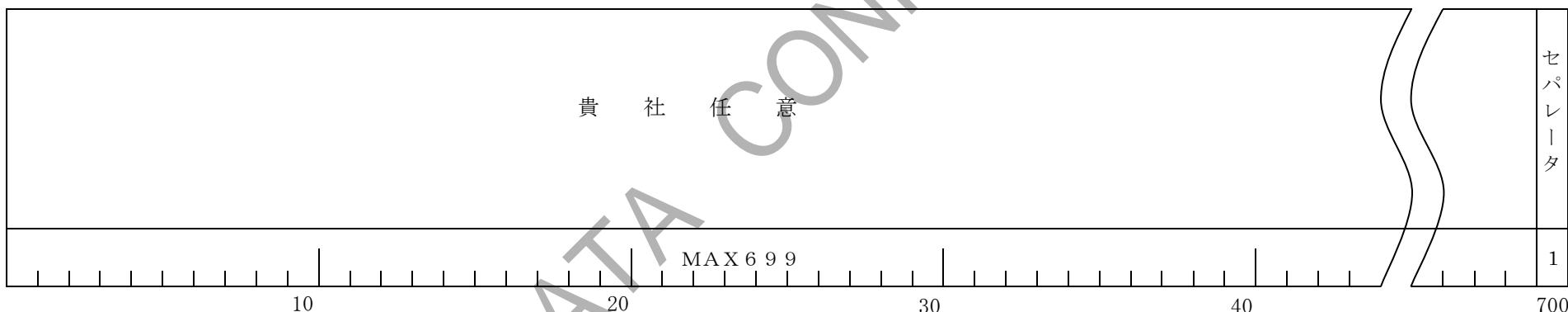
図 3.1.4-1 共通制御ヘッダ部のフォーマット (1/2)

C A T 送信状態表示	仕向処理日付	代行電文 報告表示	代行電文エラー表示	代行再仕向表示	トレーラ・レングス				
(4) 1	2	2	3	1	3				

図 3.1.4-1 共通制御ヘッダ部のフォーマット (2/2)

業務区分コード	取扱区分コード	セパレータ
1	2	1

図 3.1.4-2 データ部 1 - 4 (その他)



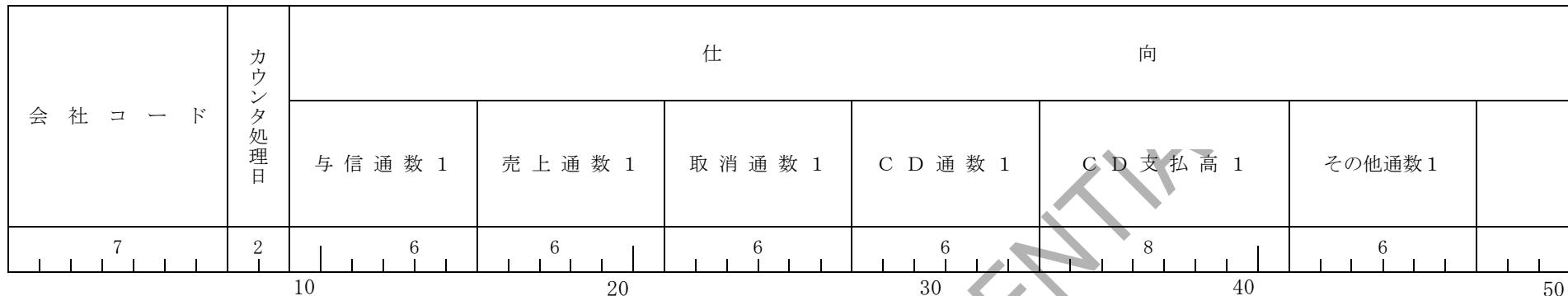


図 3.1.4-4 データ部E（カウンタ照会報告、カウンタ通知の場合（1／5）

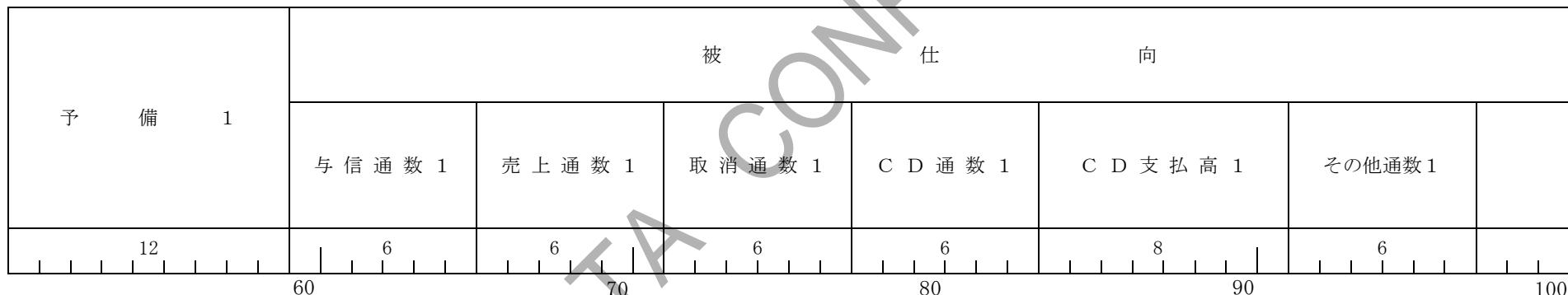


図 3.1.4-4 データ部E（カウンタ照会報告、カウンタ通知の場合（2／5）

予 備 1	カウンタ 処理 日2	仕 向					
		与信通数 2	売上通数 2	取消通数 2	C D 通数 2	C D 支払高 2	その他通数 2
12	2	6	6	6	6	8	6

110 120 130 140 150

図 3.1.4-4 データ部E（カウンタ照会報告、カウンタ通知の場合（3／5）

予 備 2	被 仕 向					
	与信通数 2	売上通数 2	取消通数 2	C D 通数 2	C D 支払高 2	その他通数 2
12	6	6	6	6	8	6

160 170 180 190 200

図 3.1.4-4 データ部E（カウンタ照会報告、カウンタ通知の場合（4／5）

被仕向		セペレータ	
予備	2		
12		1	

210

図 3.1.4-4 データ部E (カウンタ照会報告、カウンタ通知の場合 (5 / 5))

表 3.1.4-2 共通制御ヘッダ部の項目説明 (1 / 3)

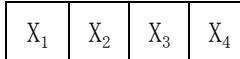
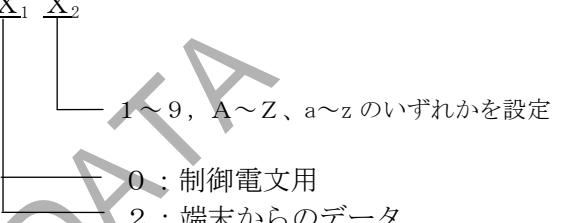
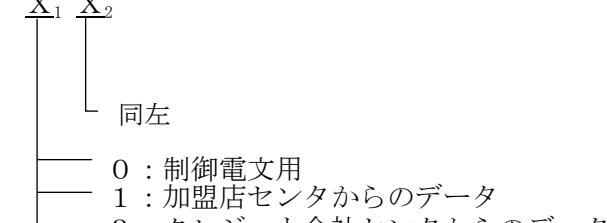
項番	項目	桁数	内 容	
			端末 - 貴社センタ間	センタ間
1	経路番号	4	<p>①  : 0000~9999</p> <p>② 奇数：被仕向経路（特に 0001 は制御電文用） 偶数：仕向経路（特に 0000 は制御電文用）</p>	
2	仕向処理通番	6	<p>① 制御電文の場合は 000000 固定</p> <p>② 各貴社センタ単位に日単位の通番を、000001 から上昇順に CAFIS が設定</p> <p>③ 同一日で 999999 の次は 000001 を設定</p>	<p>① 仕向センタ単位の番号を 000001 から仕向センタが設定</p>
3	センタ識別番号	2	<p>①  1~9, A~Z, a~z のいずれかを設定 X₁ : 端末等識別 X₂ : センタ識別</p>	<p>①  同左 0 : 制御電文用 1 : 加盟店センタからのデータ 2 : 端末からのデータ 3 : クレジット会社センタからのデータ 4 : 銀行センタからのデータ</p>
4	回線番号	3	<p>① CAFIS で管理する回線番号を設定</p> <p>② 制御電文の場合は 000 の固定</p>	<p>① 000 の固定</p>

表3.1.4-2 共通制御ヘッダ部の項目説明（2／3）

項番	項目	桁数	内 容	
			端末－貴社センタ間	センタ間
5	CAFIS処理通番	6	<p>① CAFISのセンタ処理通番であり、センタ識別（センタ識別子のX₂）単位の日単位の番号を、000001からの上昇順にCAFISが設定</p> <p>② 各センタ識別では、同一日で999999の次は000001を設定</p> <p>③ センタ識別+CAFIS処理通番の7桁が取引固有番号</p>	
6	仕向会社コード	7	① 0000000の固定	① 仕向センタの会社コード (左づめ)
7	仕向会社サブコード	4	① 0000の固定	① 仕向会社サブコード 不要の場合は0000をセット
8	被仕向会社コード	7	① 被仕向センタの会社コード (左づめ)	
9	被仕向会社サブコード	4	① 0000の固定	① 被仕向会社サブコード 不要の場合は0000をセット
10	電文種別	4	① 電文一覧表参照	
11	CAFIS処理月日	4	① CAFISが該当要求電文を受付た月日を設定	
12	CAT送信状態表示	1	<p>① CAFIS設定内容</p> <p>{ 0 : 正常送信（端末～送信正常完了） 1 : 送信異常1（端末～送信異常完了確認不要の場合） 2 : 送信異常2（端末～送信異常完了確認要の場合）</p>	<p>① CAFIS設定内容</p> <p>0 : 通常業務</p>

表 3.1.4-2 共通制御ヘッダ部の項目説明（3／3）

項番	項目	桁数	内 容	
			端末 - 貴社センタ間	センタ間
13	仕向処理日付	2	① CAFIS設定内容 業務に応じた内容を設定	① 仕向センタが処理した日付を設定
14	予備	6	① CAFIS設定内容 業務に応じた内容を設定	
15	トレーラレンジス	3	① 業務共通ヘッダ部等の後続データ部の桁数(文字数)を 10進数3桁表示(右詰め残り0)でCAFISが設定 ② B改手順JIS7コードで使用するシフトイン符号と シフトアウト符号の数は含めずにCAFISが設定	① B改手順JIS7コードで使用するシフトイン符号と シフトアウト符号の数は含めずに貴社センタが設定

表 3.1.4-3 データ部 1～4 の項目説明

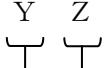
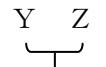
項目番	項目	桁数	内 容
1	業務区分コード	1	① 処理する業務の区分 ② その他の区分コード = 5
2	取扱区分コード	2	① 入力された取扱区分コード  $\begin{cases} 0 : \text{マニュアル入力データ無し} \\ 1 \sim 5 : \text{マニュアル入力データ有り (金額データなし)} \\ 6 \sim 8 : \text{マニュアル入力データ+金額データ有り} \end{cases}$ ② 入力された取扱区分コード  $\begin{cases} 0 \sim 4 : \text{カード入力無し} \\ 5 \sim 8 : \text{コード入力有り} \end{cases}$  $\begin{cases} 90 : \text{D L L要求 (C A T Tからのみ)} \\ 91 : \text{被仕向センタ折返しテスト要求} \\ 92 : \text{C A F I Sセンタ折返しテスト要求} \end{cases}$
3	セパレータ	1	① データの区切りを示す”@” ② データ部 1～4 の終り

表 3.1.4-4 データ部Eの項目説明

項番	項目	桁数	内容	
1	貴社任意	可変長	MAX 700	
2	セパレータ	1		データの区切りを示す。”@”

表 3.1.4-5 データ部 E カウンタ照会報告
の場合 の項目説明
カウンタ通知

項番	項目	桁数	内容
1	会社コード	7	会社コード
2	カウンタ処理日 1	2	当日
3	仕向 与信通数 1	6	与信処理で許可で完了した処理通数
4	被仕向 売上通数 1	6	売上処理 //
5	取消通数 1	6	取消処理 //
6	CD通数 1	6	CDキャッシング処理 //
7	CD支払高 1	8	// // 処理支払高 (単位:千円)
8	その他通数 1	6	照会, その他, CDキャッシング照会, 及び事故カードの処理で許可で完了した処理通数
9	予備 1	12	ALL0の固定とする
10	被仕向 与信通数 1	6	項目3に同じ
11	売上通数 1	6	項目4に同じ
12	取消通数 1	6	項目5に同じ
13	CD通数 1	6	項目6に同じ
14	CD支払高 1	8	項目7に同じ
15	その他通数	6	項目8に同じ
16	予備 1	12	ALL0の固定とする。
17	カウンタ処理日 2	2	前日
18	仕向 与信通数 2	6	与信処理で許可で完了した処理通数
19	売上通数 2	6	売上処理 //
20	取消通数 2	6	取消処理 //
21	CD通数 2	6	CDキャッシング処理 //
22	CD支払高 2	8	// // 処理支払高 (単位:千円)
23	その他通数 2	6	照会, その他, CDキャッシング照会, 及び事故カードの処理で許可で完了した処理通数
24	予備 2	12	ALL0の固定である。
25	被仕向 与信通数 2	6	項目18に同じ
26	売上通数 2	6	項目19に同じ
27	取消通数 2	6	項目20に同じ
28	CD通数 2	6	項目21に同じ
29	CD支払高 2	8	項目22に同じ
30	その他通数 2	6	項目23に同じ
31	予備 2	12	ALL0の固定である。
32	セパレータ	1	データの区切りを示す。”@”

(注1) 項番3～16のカウンタは、項番2の日のカウンタ値である。

項番18～31のカウンタは、項番17の日のカウンタ値である。

(注2) カウンタ値が負の場合のみ、項目の先頭1桁を“-”(ハイフン) とする。

3. 2 電文変換仕様

貴社センタとCAFISセンタの電文変換内容について、以下に説明する。

なお、表中の＊印は受信した内容を保障しなければならない項目である。

3. 2. 1 制御電文

制御電文における、電文変換内容を以下に説明する。

項番	電文内容	表番	備考
1	開始指令	表 3.2.1-1	
2	終了予告指令		
3	終了指令		
4	再開始要求	表 3.2.1-2	
5	終了要求		
6	回線障害回復確認指令（対センタ）	表 3.2.1-3	
7	回線障害回復確認指令（対CAFIS）	表 3.2.1-4	

表 3.2.1-1 開始指令・終了予告指令及び終了指令

電文項目 バイト 数	電文方向 センタ 数	CAFISセンター→貴社センタ	貴社センタ→CAFISセンター	
		CAFIS センタ	貴 社 セ ン タ	
共 通 制 御 ヘ ッ ツ ダ 部	経 路 番 号	4	制御経路番号 (0001) をセット	*
	仕 向 处 理 通 番	6	000000 をセット	*
	セ ネ タ 識 别 番 号	2	0×をセット (注)	*
	回 線 番 号	3	000 をセット	*
	CAFIS 处理通番	6	一連番号をセット	*
	仕 向 会 社 コ ー ド	7	0000000 をセット	*
	仕向会社サブ・コード	4	0000 をセット	*
	被 仕 向 会 社 コ ー ド	7	当該会社コードをセット	*
	被 仕 向 会 社 サ ブ ・ コ ー ド	4	当該会社コードをセット	*
	電 文 种 别	4	当該電文種別コードをセット	当該電文種別コード (報告) をセット
	CAFIS 处理月日	4	CAFIS処理月日をセット	*
	CAT送信状態表示	1	0 をセット	*
	仕 向 处 理 日 付	2	00 をセット	*
	代 行 電 文 報 告 表 示	2	00 をセット	*
	代 行 電 文 エ ラ ー 表 示	3	000 をセット	*
	代 行 再 仕 向 表 示	1	0 をセット	*
	ト レ ーラ レ ン グ ス	3	000 をセット	*

(注) ×については、1~9、A~Z、a~z のいずれかがセットされる。以降同様とする。

表 3.2.1-2 再開始要求及び終了要求

電文項目 バイト 数	電文方向 センタ バイト 数	貴社センター→CAFISセンター	CAFISセンター→貴社センター
	貴社セントラル	CAFISセントラル	
共 通 制 御 ヘ ッ ツ ダ 部	経路番号	4 制御経路番号(0000)をセット	*
	仕向処理通番	6 000000をセット	000000をセット
	センタ識別番号	2 00をセット	0×をセット
	回線番号	3 000をセット	*
	CAFIS処理通番	6 スペースをセット	一連番号をセット
	仕向会社コード	7 当該会社コードをセット	*
	仕向会社サブ・コード	4 当該会社コードをセット	*
	被仕向会社コード	7 0000000をセット	*
	被仕向会社サブ・コード	4 0000をセット	*
	電文種別	4 当該の電文種別コード(要求)をセット	当該の電文種別コード(許可指令)をセット
	CAFIS処理月日	4 0000をセット	*
	CAT送信状態表示	1 0をセット	*
	仕向処理日付	2 00をセット	*
	代行電文報告表示	2 00をセット	*
	代行電文エラー表示	3 000をセット	*
	代行再仕向表示	1 0をセット	*
	トレーラレンジス	3 000をセット	*

表3.2.1-3 回線障害回復確認処理（対センタ間）（CAFISセンター→貴社センタ）

電文項目 バイト 数	電文方向	CAFISセンター→貴社センタ	貴社センタ→CAFISセンター
		CAFISセンター	貴社センタ
共 通 制 御 部 門	経路番号	4 制御経路番号(0001)をセット	*
	仕向処理通番	6 000000をセット	*
	センタ識別番号	2 0×をセット	*
	回線番号	3 000をセット	*
	CAFIS処理通番	6 一連番号をセット	*
	仕向会社コード	7 0000000をセット	*
	仕向会社サブ・コード	4 0000をセット	*
	被仕向会社コード	7 当該会社コードをセット	*
	被仕向会社サブ・コード	4 当該会社コードをセット	*
	電文種別	4 9210をセット	9220をセット
	CAFIS処理月日	4 CAFIS処理月日をセット	*
	CAT送信状態表示	1 0をセット	*
	仕向処理日付	2 00をセット	*
	代行電文報告表示	2 00をセット	*
	代行電文エラー表示	3 000をセット	*
	代行再仕向表示	1 0をセット	*
	トレーラレンジス	3 000をセット	*

(注) 報告は指令と同一回線で応答すること

表3.2.1-4 回線障害回復確認処理（対CAFIS）（貴社センター→CAFISセンター）

電文項目 バイト 数	電文方向 センタ バイト 数	貴社センター→CAFISセンター	CAFISセンター→貴社センター
		貴社センター	CAFISセンター
共 通 制 御 部 ヘ ッ ダ 部	経路番号	4 4 制御経路番号(0000)をセット	* *
	仕向処理通番	6 6 000000をセット	000000をセット
	センタ識別番号	2 2 00をセット	0×をセット
	回線番号	3 3 000をセット	*
	CAFIS処理通番	6 6 スペースをセット	一連番号をセット
	仕向会社コード	7 7 当該会社コードをセット	*
	仕向会社サブ・コード	4 4 当該会社コードをセット	*
	被仕向会社コード	7 7 0000000をセット	*
	被仕向会社サブ・コード	4 4 0000をセット	*
	電文種別	4 4 9210をセット	9220をセット
	CAFIS処理月日	4 4 0000をセット	CAFIS処理月日をセット
	CAT送信状態表示	1 1 0をセット	*
	仕向処理日付	2 2 00をセット	*
	代行電文報告表示	2 2 00をセット	*
	代行電文エラー表示	3 3 000をセット	*
	代行再仕向表示	1 1 0をセット	*
	トレーラレンジス	3 3 000をセット	*

3. 2. 2 一般電文

一般電文における、電文変換内容を以下に説明する。

項番	区分	電文内容	表番	備考
1	センタ	折返	カウンタ照会処理	表 3.2.2-1
2			オンラインテスト処理	表 3.2.2-2
3			異常報告処理	表 3.2.2-3
4		発信	カウンタ通知処理	表 3.2.2-4

表3.2.2-1 カウンタ照会処理（仕向センター→CAFISセンター）

電文項目 セント ババ 数	電文方向	仕向センター→CAFISセンター	CAFISセンター→仕向センタ
		仕 向 セ ン タ	C A F I S セ ン タ
共 通 制 御 部 ヘ ッ ダ 部	経 路 番 号	4 仕向経路番号をセット	*
	仕 向 处 理 通 番	6 仕向センタ単位に一連番号をセット	*
	セ ネ タ 識 別 番 号	2 00 をセット	当該センタ識別番号をセット
	回 線 番 号	3 000 をセット	*
	CAFIS 处理通番	6 スペースをセット	一連番号をセット
	仕 向 会 社 コ ー ド	7 仕向会社コードをセット	*
	仕向会社サブ・コード	4 仕向会社コードをセット	*
	被 仕 向 会 社 コ ー ド	7 0000000 をセット	*
	被 仕 向 会 社 サ ブ ・ コ ー ド	4 0000 をセット	*
	電 文 種 別	4 4910 をセット	4920 をセット
	CAFIS 处理月日	4 0000 をセット	CAFIS 处理月日をセット
	CAT送信状態表示	1 0 をセット	*
	仕 向 处 理 日 付	2 仕向処理日付をセット	*
	代 行 電 文 報 告 表 示	2 00 をセット	*
	代 行 電 文 エ ラ ー 表 示	3 000 をセット	*
	代 行 再 仕 向 表 示	1 0 をセット	*
	ト レ ーラ ・ レ ン グ ス	3 4 7 をセット	ト レ ーラ レ ン グ ス を セ ッ ト
デ 一 タ 部 E	MAX 261		データ部Eをセット
デ 一 タ 部 1 - 0	4 7	データ部1-0をセット	

表3.2.2-2 オンラインテスト処理(仕向センタ→CAFISセンター)

電文項目 バイト 数	電文方向 センタ バイト 数	仕向センタ→CAFISセンター	CAFISセンター→仕向センタ	
		仕向センタ	CAFISセンター	
共 通 制 御 ヘ ッ ツ ダ 部	経路番号	4	仕向経路番号をセット	*
	仕向処理通番	6	仕向センタ単位に一連番号をセット	*
	センタ識別番号	2	00をセット	当該センタ識別番号をセット
	回線番号	3	000をセット	*
	CAFIS処理通番	6	スペースをセット	一連番号をセット
	仕向会社コード	7	仕向会社コードをセット	*
	仕向会社サブ・コード	4	仕向会社コードをセット	*
	被仕向会社コード	7	0000000をセット	*
	被仕向会社サブ・コード	4	0000をセット	*
	電文種別	4	3510をセット	3520をセット
	CAFIS処理月日	4	0000をセット	CAFIS処理月日をセット
	CAT送信状態表示	1	0をセット	*
	仕向処理日付	2	仕向処理日付をセット	*
	代行電文報告表示	2	00をセット	*
	代行電文エラー表示	3	000をセット	*
	代行再仕向表示	1	0をセット	*
	トレーラ・レングス	3	51をセット	*
データ部1-0	47	データ部1-0をセット	*	
データ部1-4	4	592@をセット	*	

表3.2.2-3 異常報告処理（仕向センタ→CAFISセンタ）（一般電文）

電文項目 バイト 数	電文方向 センタ バイト 数	仕向センタ→CAFISセンタ	CAFISセンタ→仕向センタ	
	仕向センタ	CAFISセンタ		
共 通 制 御 ヘ ッ ダ 部	経路番号	4	仕向経路番号をセット	*
	仕向処理通番	6	仕向センタ単位に一連番号をセット	*
	センタ識別番号	2	00をセット	*
	回線番号	3	000をセット	*
	CAFIS処理通番	6	スペースをセット	*
	仕向会社コード	7	仕向会社コードをセット	*
	仕向会社サブ・コード	4	仕向会社コードをセット	*
	被仕向会社コード	7	被仕向会社コードをセット	*
	被仕向会社サブ・コード	4	被仕向会社コードをセット	*
	電文種別	4	当該電文種別コード（要求）をセット	8970
	CAFIS処理月日	4	0000をセット	*
	CAT送信状態表示	1	0をセット	*
	仕向処理日付	2	仕向処理日付をセット	*
	代行電文報告表示	2	00をセット	*
出力データ部	代行電文エラー表示	3	000をセット	*
	代行再仕向表示	1	0をセット	*
入力データ部 MAX 331	トレーラ・レングス	3	要求電文のトレーラレングスをセット	*
	入力データ部		入力データ部をセット	*
				(注1)

(注1) エラーコードの項目欄に該当のエラーコードを設定

(注2) エラーコードにC12, C13, C14, C50, C33をセットする場合は以下の内容をセット

センタ識別番号：当該センタ識別番号をセット

CAFIS処理通番：一連番号をセット

CAFIS処理月日：CAFIS処理月日をセット

ただし、エラーコードにC33をセットする場合は入力データを保障することがある。

表3.2.2-4 カウンタ通知処理 (CAFISセンター→被仕向センタ)

電文項目 セントラル バイト 数	電文方向	CAFISセンター→被仕向センタ	被仕向センタ→CAFISセンター
		CAFISセンター	被仕向センタ
共 通 制 御 へ ツ ダ 部	経路番号	4 被仕向経路番号をセット	*
	仕向処理通番	6 000000をセット	*
	センタ識別番号	2 配信先の当該被仕向センタ識別番号をセット	*
	回線番号	3 000をセット	*
	CAFIS処理通番	6 一連番号をセット	*
	仕向会社コード	7 0000000をセット	*
	仕向会社サブ・コード	4 0000をセット	*
	被仕向会社コード	7 被仕向会社のコードをセット	*
	被仕向会社サブ・コード	4 被仕向会社のコードをセット	*
	電文種別	4 4110をセット	4120をセット
	CAFIS処理月日	4 CAFIS処理月日をセット	*
	CAT送信状態表示	1 0をセット	*
	仕向処理日付	2 00をセット	*
	代行電文報告表示	2 00をセット	*
	代行電文エラー表示	3 000をセット	*
	代行再仕向表示	1 0をセット	*
	トレーラレンジス	3 トレーラレンジスをセット	*
出力データ部			
入力データ部	MAX 261	データ部Eをセット	*

3. 2. 3 障害電文

障害電文における、電文変換内容を以下に説明する。

項番	区分		電文内容	表番	備考
1	センタ		取消（再）処理	表 3.2.3-1	
2			取消確認（再）処理	表 3.2.3-2	
3	発信	取消（再）処理	表 3.2.3-3		
4		取消確認（再）処理	表 3.2.3-4		
5	折返	異常報告処理	表 3.2.3-5		

表3.2.3-1 取消(再)処理(仕向センタ→CAFISセンター→被仕向センタ)

電文項目 バイト 数	電文方向 センタ バト 数	仕向センタ→CAFISセンター →被仕向センタ	CAFISセンター→被仕向センタ	被仕向センタ→CAFISセンター	CAFISセンター→仕向センタ	
	仕向センタ	CAFISセンター	被仕向センタ	CAFISセンター	CAFISセンター	
共 通 制 御 ツ ダ 部	経路番号	4	(注1)	(注2)	*	仕向センタより受信した、仕向経路番号をセット
	仕向処理通番	6	要求電文と同一内容をセット	*	*	*
	センタ識別番号	2	報告電文と同一内容をセット	*	*	*
	回線番号	3	要求電文と同一内容をセット	*	*	*
	CAFIS処理通番	6	報告電文と同一内容をセット	*	*	*
	仕向会社コード	7	要求電文と同一内容をセット	*	*	*
	仕向会社サブ・コード	4	同上	*	*	*
	被仕向会社コード	7	同上	*	*	*
	被仕向会社サブ・コード	4	同上	*	*	*
	電文種別	4	取消(再)指令の電文種別コードをセット	取消(再)指令の電文種別コードをセット	取消報告の電文種別コードをセット	*
	CAFIS処理月日	4	報告電文と同一内容をセット	*	*	*
	CAT送信状態表示	1	同上	*	*	*
	仕向処理日付	2	要求電文と同一内容をセット	*	*	*
	代行電文報告表示	2	同上	*	*	*
	代行電文エラー表示	3	000をセット	*	*	*
	代行再仕向表示	1	0をセット	*	*	*
	トレーラ・レングス	3	同上	*	*	*
出力データ部						
入力データ部	MAX 256	要求電文と同一内容をセット(注3)	*	*	*	

(注1) 取消指令の場合 : 仕向経路番号をセット
取消再指令の場合 : 取消指令と同一の仕向経路番号をセット

(注2) 取消指令の場合 : 被仕向経路番号をセット
取消再指令の場合 : 取消指令と同一の被仕向経路番号をセット

(注3) 入力データ部のマスタ電文種別の項には被仕向側より受信した電文種別(××許可報告又は××拒否報告)をセットする。

表3.2.3-2 取消確認（再）処理（仕向センター→CAFISセンター→被仕向センター）

電文項目	電文方向 セント バタ 数	仕向センター→CAFISセンター	CAFISセンター→被仕向センター	被仕向センター→CAFISセンター	CAFISセンター→仕向センター	
		仕向センター	CAFISセンター	被仕向センター	CAFISセンター	
共 通 制 御 へ ツ ダ 部	経路番号	4	要求電文と同一内容をセット	(注1)	*	仕向より受信した仕向経路番号をセット
	仕向処理通番	6	同上	*	*	
	センタ識別番号	2	同上	当該センタ識別番号をセット	*	*
	回線番号	3	同上	*	*	*
	CAFIS処理通番	6	同上	要求電文に付与した処理通番をセット	*	*
	仕向会社コード	7	同上	*	*	*
	仕向会社サブ・コード	4	同上	*	*	*
	被仕向会社コード	7	同上	*	*	*
	被仕向会社サブ・コード	4	同上	*	*	*
	電文種別	4	取消確認（再）指令の電文種別コードをセット	取消（再）指令の電文種別コードをセット	取消報告の電文種別コードをセット	取消確認報告の電文種別コードをセット
	CAFIS処理月日	4	要求電文と同一内容をセット	要求電文に付与した処理月日をセット	*	*
	CAT送信状態表示	1	同上	*	*	*
	仕向処理日付	2	同上	*	*	*
	代行電文報告表示	2	同上	*	*	*
	代行電文エラー表示	3	同上	*	*	*
	代行再仕向表示	1	同上	*	*	*
	トレーラ・レンジス	3	同上	*	*	*
出力データ部						
入力データ部		MAX 256	要求電文と同一内容をセット (注2)	*	(注3)	

(注1) 取消指令の場合 : 被仕向経路番号をセット
 取消再指令の場合 : 取消指令と同一の被仕向経路番号をセット

(注2) 入力データ部のマスタ電文種別の項には当該××要求の電文種別をセット

(注3) 取消（再）指令の場合、入力データ部のマスタ電文種別の項には当該××報告の電文種別をセット

表3.2.3-3 取消(再)処理 CAFISセンター→被仕向センタ

電文項目 セント バツ 数	電文方向	CAFISセンター→被仕向センタ	被仕向センタ→CAFISセンター
		CAFISセンター	被仕向センタ
共 通 制 御 ヘ ッ ダ 部	経路番号	4 (注1)	*
	仕向処理通番	6 要求電文と同一内容をセット	*
	センタ識別番号	2 同上	*
	回線番号	3 同上	*
	CAFIS処理通番	6 同上	*
	仕向会社コード	7 同上	*
	仕向会社サブ・コード	4 同上	*
	被仕向会社コード	7 同上	*
	被仕向会社サブ・コード	4 同上	*
	電文種別	4 取消(再)指令の電文種別コードをセット	取消報告の電文種別コードをセット
	CAFIS処理月日	4 要求電文と同一内容をセット	*
	CAT送信状態表示	1 同上	*
	仕向処理日付	2 同上	*
	代行電文報告表示	2 同上	*
	代行電文エラー表示	3 同上	*
	代行再仕向表示	1 同上	*
	トレーラレンジス	3 同上	*
出力データ部			
	入力データ部	MAX 256	要求電文と同一内容をセット (注2)

(注1) 取消指令の場合 : 被仕向経路番号をセット

取消再指令の場合 : 取消指令と同一の被仕向経路番号をセット

(注2) 入力データ部のマスタ電文種別の項には被仕向側より受信した電文種別(××許可報告又は××拒否報告)をセットする。

表3.2.3-4 取消確認（再）処理 CAFISセンター→被仕向センタ

電文項目 バイト 数	電文方向 センタ バサ 数	CAFISセンター→被仕向センタ	被仕向センタ→CAFISセンター
		CAFISセンター	被仕向センタ
共 通 制 御 ヘ ツ ダ 部	経路番号	4 要求電文と同一内容をセット	*
	仕向処理通番	6 同上	*
	センタ識別番号	2 同上	*
	回線番号	3 同上	*
	CAFIS処理通番	6 同上	*
	仕向会社コード	7 同上	*
	仕向会社サブ・コード	4 同上	*
	被仕向会社コード	7 同上	*
	被仕向会社サブ・コード	4 同上	*
	電文種別	4 取消確認（再）指令の電文種別コードをセット	取消確認報告の電文種別コードをセット
	CAFIS処理月日	4 要求電文と同一内容をセット	*
	CAT送信状態表示	1 同上	*
	仕向処理日付	2 同上	*
	代行電文報告表示	2 同上	*
	代行電文エラー表示	3 同上	*
	代行再仕向表示	1 同上	*
	トレーラレンジス	3 同上	*
出力データ部			
	入力データ部 MAX 256	要求電文と同一内容をセット (注1)	*

(注1) 入力データ部のマスタ電文種別の項には当該××要求の電文種別コードをセットする。

表3.2.3-5 異常報告処理 仕向センタ→CAFISセンター (障害電文)

電文項目 バ 数	電文方向 センタ バ 数	CAFISセンター→被仕向センタ	被仕向センタ→CAFISセンター
		CAFISセンター	被仕向センタ
共 通 制 御 ヘ ツ ダ 部	経路番号	4 (注1)	*
	仕向処理通番	6 要求電文と同一内容をセット	*
	センタ識別番号	2 (注2)	* (注4)
	回線番号	3 要求電文と同一内容をセット	*
	CAFIS処理通番	6 (注2)	* (注4)
	仕向会社コード	7 要求電文と同一内容をセット	*
	仕向会社サブ・コード	4 同上	*
	被仕向会社コード	7 同上	*
	被仕向会社サブ・コード	4 同上	*
	電文種別	4 当該(指令)の電文種別コードをセット	8970をセット (注5)
	CAFIS処理月日	4 (注2)	* (注4)
	CAT送信状態表示	1 要求電文と同一内容をセット	*
	仕向処理日付	2 同上	*
	代行電文報告表示	2 同上	*
	代行電文エラー表示	3 同上	*
	代行再仕向表示	1 同上	*
	トレーラレンジス	3 同上	*
出力データ部			
入力データ部	MAX 256	要求電文と同一内容をセット	* (注3)

(注1) 取消指令の場合 : 仕向経路番号をセット
 取消再指令の場合 : 取消指令と同一の仕向経路番号をセット
 取消確認(再)指令の場合 : ××要求と同一の仕向経路番号をセット

(注2) 取消(再)指令の場合 : ××許可又は××拒否報告電文と同一内容をセット
 取消確認(再)指令の場合 : 要求電文と同一内容をセット

(注3) エラーコードの項目欄に該当のエラーコードを設定

(注4) 取消確認(再)指令の場合でかつエラーコードにC12, C13, C14, C50を設定する場合該当項目は直前に受信済の要求電文にCAFISセンターが設定した内容をセットする。

(注5) エラーコードにC13, C14, C50をセットする状態の場合は取消報告(8950)又は取消確認報告(8960)の電文種別コードをセットする。すなわち異常報告とはしない。

3. 3 チェック仕様

3. 3. 1 処理原則

(1) 貴社センタへ電文送信後の各受信電文に対するCAFISの処理原則

仕向、被仕向側 からの受信電文 CAFISからの送 信指令および状態	再 開 始 要 求	終 了 要 求	×	回 線 障 害	回 復 確 認 指 令	取 消 (再) 指 令	取 消 確 認 (再) 指 令	該 当 報 告 電 文 以 外
開 始 指 令	①	①	⑥	②	⑥	⑥	⑥	①
× × 要 求	④	②	②	②	②	②	②	②
終 了 予 告 指 令	①	①	⑥	②	⑥	⑥	⑥	②
カ ウ ン タ 通 知	①	①	⑥	②	⑥	⑥	⑥	①
終 了 指 令	①	①	⑥	②	⑥	⑥	⑥	①
回 線 障 害 回 復 確 認 指 令	④	②	②	②	②	②	②	②
取 消 (再) 指 令	④	②	②	②	②	②	②	②
取 消 確 認 (再) 指 令	④	②	②	②	②	②	②	②
貴 社 セ ン タ 障 害 中	③	④	⑤	⑦	⑤	⑤	⑤	④

- ① 受信した電文を破棄し、指令に対する応答電文を待つ。
- ② 受信した電文を有効とし通常処理を行うとともに指令（要求）に対する応答を待つ。
- ③ 受信した電文を有効とし応答するとともに再開始処理を行う。
- ④ 貴社センタを障害扱いとし、許可指令の送信正常により再開始とする。
- ⑤ 受信した要求に対し、異常報告を応答し障害扱いとする。
- ⑥ 受信した要求に対し、異常報告を応答するとともに指令（通知）に対する応答を待つ。
- ⑦ 受信した電文を有効とし、貴社センタ障害

(2) CAFISへ電文送信後の各受信電文に対する貴社センタの処理原則

CAFISからの受信電文 貴社センタ側 要求送出状態	開始指令	× 要求	終了予告指令	終了指 令	回線障害指 回復令	取消(再) 指令	取消確認(再) 指令	該当報告電文以外	カウンタ通知
再開始要求	④	⑦	③	③	②	⑦	⑦	⑦	⑩
終了要求	①	②	③	③	②	②	②	⑪	②
××要求, DT要求	①	②	②	③	②	②	②	⑪	⑫
回線障害回復確認指令	①	②	②	③	②	②	②	②	②
取消(再)指令	①	②	②	③	②	②	②	⑪	⑫
取消確認(再)指令	①	②	②	③	②	②	②	⑪	⑫
CAFIS障害中	④	⑨	③	③	⑥	⑨	⑨	⑨	⑨
オンライン未開始(休止中)	⑧	⑤	⑨	⑨	⑨	⑤	⑤	⑤	⑤

- ① 受信した指令に対し応答処理を行うとともに再要求を行う。
- ② 受信した指令(要求・通知)に対し応答処理を行うとともに要求に対する応答を待つ。
- ③ 要求に対する応答を待つことなく受信した指令に対し以下の処理を行う。
 - i) 受信した指令が「終了予告指令」であれば「終了準備完了報告」を送信し「終了指令」を待つ。
 - ii) 受信した指令が「終了指令」であれば「終了報告」を送信し貴社センタは終了する。
- ④ 受信した指令の応答処理を行い応答を待つことなく再開始処理を行う。
- ⑤ 電文を受信しない。
- ⑥ 受信した指令の応答処理を行う。
- ⑦ 受信した指令(要求)を破棄し要求に対し応答を待つ。
- ⑧ 貴社センタ開始準備完了時、応答処理を行う。開始準備未完了時は、指令を破棄する。
- ⑨ 受信した電文を破棄する。
- ⑩ 要求に対する応答を待つことなく、受信した通知に対し応答する(CAFISセンタからの終了予告指令を受信後又は貴社センタが終了要求を送信後再開始要求を送信した場合)。
- ⑪ 受信した報告を有効とし、要求に対する応答を待つ。
- ⑫ 受信した指令の応答処理を行い、送信した要求を保留する。

3. 3. 2 仕向センタチェック仕様

- (1) 送信電文
 - (a) 被仕向会社コードはサービス対象の被仕向センタの会社コードであること。
 - (b) 被仕向センタで行っている業務であること。
 - (c) 取消（再）指令、取消確認（再）指令は、保障項目（電文変換仕様を参照）を保障すること。
 - (d) 一般電文の送信時に、空経路があること。
 - (e) CAFISセンタが障害中（全回線障害）の場合は、仕向センタに接続されている端末に対し処理の後処理を行う。
 - (f) 要求電文の送信結果が正常か否かを判定し、異常の場合は端末にエラー通知を行う。
- (2) 受信電文
 - (a) 仕向センタで異常報告、取消報告、取消確認報告を受信した場合は、電文にセットされているエラーコードをチェックし、エラーコードに対応する運用を行う。
 - (b) 保障項目のチェックを行う。（電文変換仕様を参照）
 - (c) CAFISセンタに要求電文を送信後、規定時間を経過しても報告電文を受信しない場合はタイムオーバとする。
タイムオーバ発生時に、CAFISセンタに対して表3.3.2-1に示す電文を送信する。

表3.3.2-1 電文作成条件

項目番号	タイムオーバ発生前の電文	タイムオーバ発生後の電文
1	要求	取消確認指令（注1）
2	取消確認（再）指令	取消確認再指令
3	取消（再）指令	取消再指令

（注1） CAFIS折返しの要求電文の場合は、障害電文を送信しない。

- (d) 報告電文を端末へ送信時に送信不能となった場合は、CAFISセンタに取消指令を送信する。

3. 3. 3 被仕向センタチェック仕様

(1) 受信電文

- (a) 仕向会社コードがサービス対象会社であるか否かのチェックを行い、エラーの場合は××拒否報告を応答する。
- (b) 業務のチェックを行いサービス対象外の場合は、××拒否報告を応答する。
- (c) 暗証番号チェックを必要とする場合は、要求電文に対応した××拒否報告を応答する。
- (d) 被仕向センタでその他の業務上必要なチェックを行い、業務上認められない時は××拒否報告を応答する。

(2) 送信電文

- (a) 受信した電文と同一経路で報告電文を応答する。
- (b) C A F I S センタが障害中（全回線障害）の場合は、電文保留処理を行い後処理に備える。
- (c) 報告電文の送信結果が正常か否かを判定し、異常の場合は電文保留処理を行い後処理に備える。

3. 3. 4 CAFISセンタチェック仕様

(1) 最大電文長チェック

受信電文長が規定長であるか否かのチェックを行い、規定長以下の場合は無効電文として電文を破棄し、規定長以上の場合は異常報告を応答する。

なお、B改手順では J I S 7 コードで使用するシフトイン符号とシフトアウト符号の数を含めない電文長でチェックする。

電文長チェック一覧を表 3.3.4-1 に示す。

表 3.3.4-1 電文長チェック一覧

送信元	規定長（バイト）	エラーコード	エラーメッセージ
端末	4 7 ≦ 電文長 ≦ 2 9 2	C 0 3	CAF 0 3
センタ	6 3 ≦ 電文長 ≦ 1 0 2 4	C 0 3	

(2) 受信電文内容チェック

A. 制御電文（貴社センタ要求）受信

経路番号が「0 0 0 0」の場合に以下のチェックを行い、エラーの場合は無効電文として電文を破棄する。

(a) 仕向会社コード

受信電文内容の仕向会社コードおよび仕向会社サブコードが、CAFISセンタで管理する電文送信元の会社コード、および契約桁数と対応しているかのチェックを行う。

(b) 電文種別

再開始要求（7 0 2 0）、終了要求（0 7 2 0）、または回線障害回復確認指令（9 2 1 0）であるかチェックを行う。

(c) トレーラレンジス

「0 0 0」であるかチェックを行う。

B. 制御電文（貴社センタ報告）受信

経路番号が「0001」の場合、以下のチェックを行い、エラーの場合は無効電文として破棄する。

(a) 電文種別

CAFISが送信した指令電文と対応した電文種別であるかチェックを行う。

(b) その他

CAFISが送信した指令電文内容を、電文種別を除いて保障しているかチェックを行う。

C. 一般電文（貴社センタ要求）受信

経路番号が仕向経路の場合、以下のチェックを行い、エラー電文に対しては該当のエラーコードを付与した異常報告を応答する。

一般電文（貴社センタ要求）受信時のチェックを表3.3.4-2に示す。

表3.3.4-2 一般電文（貴社センタ要求）受信時のチェック

項目番	項目名	チェック内容	エラーコード
1	経路番号	当該仕向センタの保有する経路範囲であるか	C55
2		当該経路が他の取引で使用中でないか	C51
3	仕向処理通番	ニューメリックであるか	C58
4	仕向会社コード	「(2) 受信電文内容チェック」のAの(a)と同様	C53
5	仕向会社サブコード		
6	被仕向会社コード	CAFISセンタに登録されている会社コードとして存在すること。なお、チェックは当該自社の契約桁数内で行う。	C01
7	被仕向会社サブコード		
8	電文種別	CAFISサービス対象であるか	C54
9	仕向処理日付	ニューメリックであるか	C58
10		日付範囲内であるか(01~31)	C58
11	仕向処理日付	ニューメリックであるか。	C58
12	代行報告表示	00であるか	C56
13	トレーラレンジス	ニューメリックであるか	C03
14		受信電文長から63を減じた値であるか	C03

D. 一般電文（端末要求）受信

(a) 接続会社コード

接続会社コードがCAFISに登録されているかチェックを行い、エラーの場合はエラーメッセージ（CAF01またはC01）を端末へ応答する。

(b) 電文送信区分

電文送信区分が規定された内容（1, 2, 3, 9）であるかチェックを行い、エラーの場合はエラーメッセージ（CAF16またはC16）を端末へ応答する。

E. 一般電文および障害電文（貴社センタ報告）受信

経路番号が被仕向経路の場合に以下のチェックを行い、エラーの場合は無効電文として破棄する。

一般および障害電文（貴社センタ報告）受信時のチェックを表3.3.4-3に示す。

表3.3.4-3 一般および障害電文（貴社センタ報告）受信時のチェック（1／2）

項目番	項目名	チェック内容
1	経路番号	当該仕向センタの保有する経路範囲であるか
2		当該経路が使用中であるか
3	仕向処理通番	当該経路の要求電文内容を保障しているか
4	センタ識別番号	同 上
5	回線番号	同 上
6	CAFIS処理通番	同 上
7	仕向会社コード	同 上
8	仕向会社サブコード	同 上
9	被仕向会社コード	同 上
10	被仕向会社サブコード	同 上
11	電文種別	要求電文と対応した電文種別であるか
12	CAFIS処理月日	当該経路の要求電文内容を保障しているか
13	CAT送信状態表示	同 上
14	仕向処理日付	同 上
15	代行報告表示	同 上
16	代行電文エラー表示	同 上
17	代行再仕向表示	同 上

表 3.3.4-3 一般および障害電文（貴社センタ報告）受信時のチェック（2／2）

項目番	項目名	チェック内容
18	トレーラレンジス	ニューメリックであるか
19		受信電文長から 63 を減じた値であるか

F. 障害電文（貴社センタ指令）受信

経路番号が仕向経路で電文種別が取消（再）指令、または取消確認（再）指令の場合は以下のチェックを行い、エラー電文に対しては該当のエラーコードを付与した異常報告を応答する。

(a) 取消（再）指令

取消（再）指令受信時のチェックを表 3.3.4-4 に示す。

表 3.3.4-4 取消（再）指令受信時のチェック

項目番	項目名	チェック内容	エラーコード
1	経路番号	当該仕向センタの保有する経路範囲であるか	C 5 5
2		当該経路が他の取引で使用中でないか	C 5 1
3	仕向処理通番	ニューメリックであるか	C 5 8
4	センタ識別番号	当該仕向センタが契約する端末等識別か	C 5 6
5	CAFIS処理通番	ニューメリックであるか	C 5 8
6	仕向会社コード	「(2) 受信電文内容チェック」の A の (a) と同様	C 5 3
7	仕向会社サブコード		
8	被仕向会社コード	CAFISセンタに登録されている会社コードとして存在すること。なお、チェックは当該自社の契約桁数内で行う。	C 0 1
9	被仕向会社サブコード	ニューメリックであるか	C 5 8
10	CAFIS処理月日		
11	日付範囲内であるか（01～31）	C 5 8	
12	仕向処理日付	ニューメリックであるか	C 5 8
13		日付範囲内であるか（01～31）	C 5 8
14	トレーラレンジス	ニューメリックであるか	C 0 3
15		受信電文長から 63 を減じた値であるか	C 0 3

(b) 取消確認（再）指令

取消確認（再）指令受信時のチェックを表 3.3.4-5 に示す。

表 3.3.4-5 取消確認（再）指令受信時のチェック

項目番	項目名	チェック内容	エラーコード
1	経路番号	当該仕向センタの保有する経路範囲であるか	C 5 5
2		当該経路が他の取引で使用中でないか	C 5 1
3	仕向処理通番	当該経路の電文内容を保障しているか	C 5 6
4	仕向会社コード	「(2) 受信電文内容チェック」の A の (a) と同様	C 5 3
5	仕向会社サブコード		
6	被仕向会社コード	CAFISセンタに登録されている会社コードとして存在すること。なお、チェックは当該自社の契約桁数内で行う。	C 0 1
7	被仕向会社サブコード		
8	仕向処理日付	当該経路の電文内容を保障しているか	C 5 6
9	代行報告表示	当該経路の電文内容を保障しているか	C 5 6
10	トレーラレンジス	ニューメリックであるか	C 0 3
11		受信電文長から 6 3 を減じた値であるか	C 0 3

(3) 状態チェック

各種電文の受信時に仕向センタ、被仕向センタ、およびCAFISセンタの状態をチェックし、結果により電文破棄、異常報告の応答またはエラーメッセージの応答処理を行う。

チェック対象項目を表 3.3.4-6 に、電文毎の状態チェックエラー時の処理を表 3.3.4-7 に示す。

表 3.3.4-6 チェック対象項目

項目番	チェック対象項目	エラー状態	エラーコード	エラーメッセージ
1	仕向センタ	仕向センタ未開局	C 6 0	—
2		仕向センタサービス対象外	C 6 0	—
3	被仕向センタ	被仕向センタ空経路無し	C 1 2	CAF12
4		被仕向センタ障害中	C 1 3	CAF13
5		被仕向センタ休止中	C 1 4	CAF14
6		被仕向センタサービス対象外	C 5 7	CAF01
7	CAFISセンタ	CAFISセンタ終了	C 1 5	CAF15
8		CAFISセンタ輻輳	C 3 3	CAF33

表 3.3.4-7 電文毎の状態チェックエラー時の処理

項目番	電文	エラー時の処理	
1	制御電文	無効電文として電文破棄し、無効電文受信前の状態に戻す	
2	一般電文	要求	異常報告またはエラーメッセージを応答する
3		報告	無効電文として電文破棄し、無効電文受信前の状態に戻す
4	障害電文	要求	異常報告またはエラーメッセージを応答する
5		報告	無効電文として電文破棄し、無効電文受信前の状態に戻す

3.3.5 エラーコード

CAFISセンタが一般電文に対する異常報告で使用するエラーコードを表3.3.5-1に、CAFISセンタが障害電文に対する報告電文に使用するエラーコードを表3.3.5-2に示す。

表3.3.5-1 CAFISセンタが一般電文に対する異常報告で使用するエラーコード

エラーコード	事象	内容及び原因	エラーコード受信時の仕向センタの運用
C01	被仕向会社コードエラー	被仕向会社コードがCAFISに登録されていない	当該電文の処理を中止し調査する
C03	最大電文長エラー	入力電文長が規定値を超える	
C12	被仕向センタビジー	当該被仕向センタの全経路が使用中である	再度当該電文を送信する
C13	被仕向センタ障害中	当該被仕向センタが障害中である	
C14	被仕向センタ個別終了	当該被仕向センタが終了している	
C15	CAFISセンタ終了	CAFISセンタのオンライン終了である	当該電文の処理を終了する
C33	CAFISセンタ輻輳	CAFISセンタが輻輳中である	
C50	タイムアウト	CAFISセンタでタイムアウトを検出した	
C51	経路重複	使用中の仕向経路で再度電文を受信した	
C53	仕向会社コードエラー	仕向会社コードが仕向センタと不一致	
C54	電文種別エラー	CAFISセンタのサービス対象外の電文種別を受信した	
C55	経路範囲外	当該仕向センタで保有する経路範囲外である	当該電文の処理を中止し調査する
C56	電文対応エラー	保障項目が保障されていない	
C57	当該会社サービスなし	当該被仕向センタが行っていないサービスである	
C58	ニューメリックチェックエラー	ニューメリックチェックにエラーがあった	
C60	受信不可能状態で電文受信	受信不可能状態で電文を受信した	当該電文の処理を終了しオンラインを再開始する

表3.3.5-2 CAFISセンタが障害電文に対する報告電文に使用するエラーコード（1／2）

項目番号	エラーコード	事象	内容及び原因	CAFIS応答電文	仕向センタでの処置	CAFISセンタでの処理
1	C01	被仕向会社コードエラー	被仕向会社コードがCAFISセンタに登録されていない。		当該電文の処理を中止し調査する。	
2	C03	最大電文長エラー	入力電文長が規定値を超えている。	異常報告	一定時間後再度当該電文を送信する。	
3	C12	被仕向センタビジー	当該被仕向センタの全経路が使用中である。			
4	C13	被仕向センタ障害中	当該被仕向センタが障害中である。			電文を保留し、被仕向センタ開始後送信する。
5	C14	被仕向センタ個別終了	当該被仕向センタが終了している。	取消報告又は取消確認報告（注）	当該電文の処理を終了する。	
6	C15	CAFISセンタ終了	CAFISセンタのオンライン終了である。	異常報告	オンライン開始後、送信する。	
7	C33	輻輳	CAFISセンタが輻輳中である		一定時間後に処理を中止し、被仕向センタと取引調査を行う。	
8	C50	タイムアウト	CAFISセンタで被仕向センタからの報告待タイムアウト検出	取消報告又は取消確認報告（注）	一定時間隔で当該電文を被仕向センタ送信	
9	C51	経路重複	使用中の仕向経路で再度電文を受信した。		電文を保留し、一定間隔で当該電文を被仕向センタ送信	
10	C53	仕向会社コードエラー	仕向会社コードが回線上の仕向センタと不一致	異常報告	当該電文の処理を中止し調査する。	
11	C54	電文種別エラー	CAFISセンタのサービス対象外の電文種別を受信した。			

(注) 取消報告、取消確認報告にエラーコード（C13, C14, C50）をセット

表3.3.5-2 CAFISセントラルが障害電文に対する報告電文に使用するエラーコード（2／2）

項目番号	エラーコード	事象	内容及び原因	CAFIS応答電文	仕向センタでの処置	CAFISセントラルでの処理
12	C55	経路範囲外エラー	当該仕向センタで保有する経路範囲外である。		当該電文の処理を中止し調査する。	
13	C56	電文対応エラー	以下の項目（保障項目）が当該経路の直前の電文と相違している。 ①仕向処理番 ②仕向会社コード ③被仕向会社コード ④仕向処理日付		処理を中止する。 他取引においても発生する場合は調査する。	
14	C57	当該会社サービスなし	当該被仕向センタは対センタ間サービスを行っていない。		異常報告	
15	C58	ニューメリックチェックエラー	ニューメリックチェック項目（データ部1-5請求金額）がニューメリックでない。		当該電文の処理を中止し調査する。	
16	C60	受信不可能状態で電文受信	以下の状態の時電文受信		オンライン開始後送信する。	
			① 休止中（個別終了）のセンタから電文受信 ② 障害中のセンタから電文受信 ③ CAFIS一斉開始後の未開始センタから電文受信			

(注) 取消報告、取消確認報告にエラーコード（C13, C14, C50）をセット

3. 4 カウンタ仕様

3. 4. 1 CAFISで管理するカウンタ

CAFISセンタでは、貴社センタとCAFISセンタ間の、オンライン業務における取引を、オンラインカウンタとして更新する。

カウンタ情報としては、センタ間業務における一般業務カウンタと、個別業務カウンタを保有するが、本設計書では一般業務カウンタについて記述し、個別業務カウンタについては、接続条件設計書（個別業務編）を参照すること。

(1) カウンタの種類と内容

カウンタは、仕向カウンタと被仕向カウンタの2種類がある。

一般業務カウンタ内容を表3.4.1-1に示す。

表3.4.1-1 一般業務カウンタ内容

仕向カウンタ	被仕向カウンタ	更新対象業務
与信通数	与信通数	仕向センタからの与信処理
売上通数	売上通数	仕向センタからの売上処理
取消通数	取消通数	仕向センタからの取消処理
CD通数	CD通数	CDキャッシング処理
CD支払高	CD支払高	CDキャッシング処理
その他通数	その他通数	仕向センタからの照会処理、 CDキャッシング照会処理、 事故カード中継処理、および 上記以外のセンタ間業務処理

(2) カウンタの更新

A. CAFISセンタ

(a) カウンタ更新契機

CAFISセンタのカウンタ更新契機を表3.4.1-2に示す。

表 3.4.1-2 CAFISセンタのカウンタ更新方法 (1 / 3)

(通常処理)

電文方向	CAFIS		カウンタ更新	備考
仕向	××要求	CAFIS	××要求	被仕向
	××許可報告	○	××許可報告	仕×× (+) 被×× (+)
	××要求		××要求	—
	××拒否報告		××拒否報告	—
	××要求			—
	取消確認指令			—
	異常報告			—
	××要求			—
	異常報告	T.O	取消確認指令	—
			取消確認報告	—
	××要求		××要求	仕×× (+) 被×× (+)
		××許可報告		仕×× (-) 被×× (-)
		取消指令		
		取消報告		
	××要求		××要求	—
		××拒否報告		
		取消指令		
		取消報告		

(注) 電文方向内の○印はカウンタ更新時点を示す。

表 3.4.1-2 CAFISセンタのカウンタ更新方法（2／3）

(異常處理 1)

電文方向	カウンタ更新	備考
<p>仕向 CAFIS 被仕向</p> <pre> sequenceDiagram participant Source participant CAFIS participant Destination Note over CAFIS: CAFIS Source->>CAFIS: 取消指令 activate CAFIS CAFIS-->>Destination: 取消報告 deactivate CAFIS </pre>	仕×× (−) 被×× (−)	
<p>T. 0</p> <pre> sequenceDiagram participant Source participant CAFIS participant Destination Note over CAFIS: CAFIS Source->>CAFIS: 取消指令 activate CAFIS CAFIS->>Source: 取消再指令 deactivate CAFIS CAFIS-->>Destination: 取消報告 activate Destination Destination-->>Source: 取消報告 deactivate Destination </pre>	仕×× (−) 被×× (−)	
<pre> sequenceDiagram participant Source participant CAFIS participant Destination Note over CAFIS: CAFIS Source->>CAFIS: 取消指令 activate CAFIS CAFIS-->>Destination: 取消報告 deactivate CAFIS Destination->>CAFIS: 取消指令 activate CAFIS CAFIS-->>Source: 取消報告 deactivate CAFIS </pre>	仕×× (−) 被×× (−)	
<pre> sequenceDiagram participant Source participant CAFIS participant Destination Note over CAFIS: CAFIS Source->>CAFIS: 取消指令 activate CAFIS CAFIS-->>Destination: 取消報告 deactivate CAFIS Destination->>CAFIS: 取消再指令 activate CAFIS CAFIS-->>Source: 取消報告 deactivate CAFIS </pre>	仕×× (−) 被×× (−)	

表 3.4.1-2 CAFISセンタのカウンタ更新方法（3／3）

(異常処理 2)

電文方向	CAFIS		カウンタ更新	備考
仕向	取消確認指令	取消指令		
	取消確認報告		仕××	（-）
		取消報告	被××	（-）
T.O	取消確認指令			
	取引確認再指令	○	仕××	（-）
	取消確認報告		被××	（-）
		取消報告		
	取消確認指令	○	取消指令	
	取消確認報告		×	
		取消指令	仕××	（-）
		取消報告	被××	（-）
	取消確認指令	○	取消指令	
	取消確認報告		→	
		T.O 取消再指令	仕××	（-）
		取消報告	被××	（-）
	取消確認指令	○	取消指令	
	取消確認報告		→	
T.O	取引確認再指令		仕××	（-）
	取消確認報告	→	被××	（-）

(b) カウンタ更新条件

① 仕向カウンタ

××許可報告が仕向センタへ送信正常となった場合、または、仕向センタから
××許可報告に対する取消指令を受信した場合は当該カウンタの更新を行う。

② 被仕向カウンタ

××許可報告を被仕向センタから受信した場合、または、××許可報告に対する
取消指令を被仕向センタへ送信する場合は当該カウンタの更新を行う。

B. 貴社センタ

(a) 仕向カウンタ

① ××許可報告を受信した場合に当該カウンタを加算する。

② ××許可報告に対する取消指令を送信する場合に当該カウンタを減算する。

(a) 被仕向カウンタ

① ××許可報告を送信する場合に当該カウンタを加算する。

② 取消（再）指令または取消確認（再）指令を受信し、対応する××許可報告を
送信済の場合に当該カウンタを減算する。

(3) カウンタ内容の通知

① C A F I S センタの一斉終了時に、カウンタ通知契約をされている貴社センタへ契
約に応じたカウンタ通知電文を送信する。

② 貴社センタの個別終了時に、カウンタ通知契約をされている貴社センタへ契約に応じ
たカウンタ通知電文を送信する。

③ 貴社センタからカウンタ照会要求を受信時に、貴社のカウンタ通知契約に応じたカ
ウンタ報告電文を送信する。なお、契約が無い場合は一般業務カウンタ内容のカウン
タ報告を送信する。

CAFIS 接続条件設計書（業務共通編） [第2.2版] 平成30年1月

作成責任者

株式会社NTTデータ

Copyright ©1999-2018 NTT DATA

複製厳禁・無断転載禁止
